昭和58年3月10日発行（毎月1回10日発行）第6巻第3号 昭和57年6月15日国鉄首都特別扱承認雑誌第6262号 Printed in Japan

MACROSS COLLECTION

Animage '83・3月号ふろく

超時空要塞マクロスコレクション

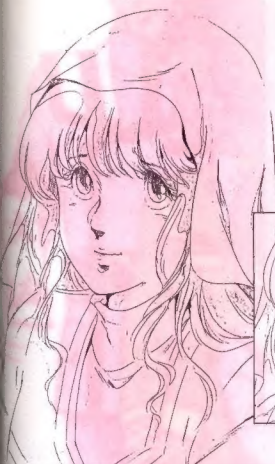
●もくじ

表紙原画／美樹本晴彦
セル・ワーク／EGワールド
■構成／中村秀敏・渡辺隆史・中村　学
■レイアウト／庄内　真

MACROSS
メカニック・軍章
ステッカー

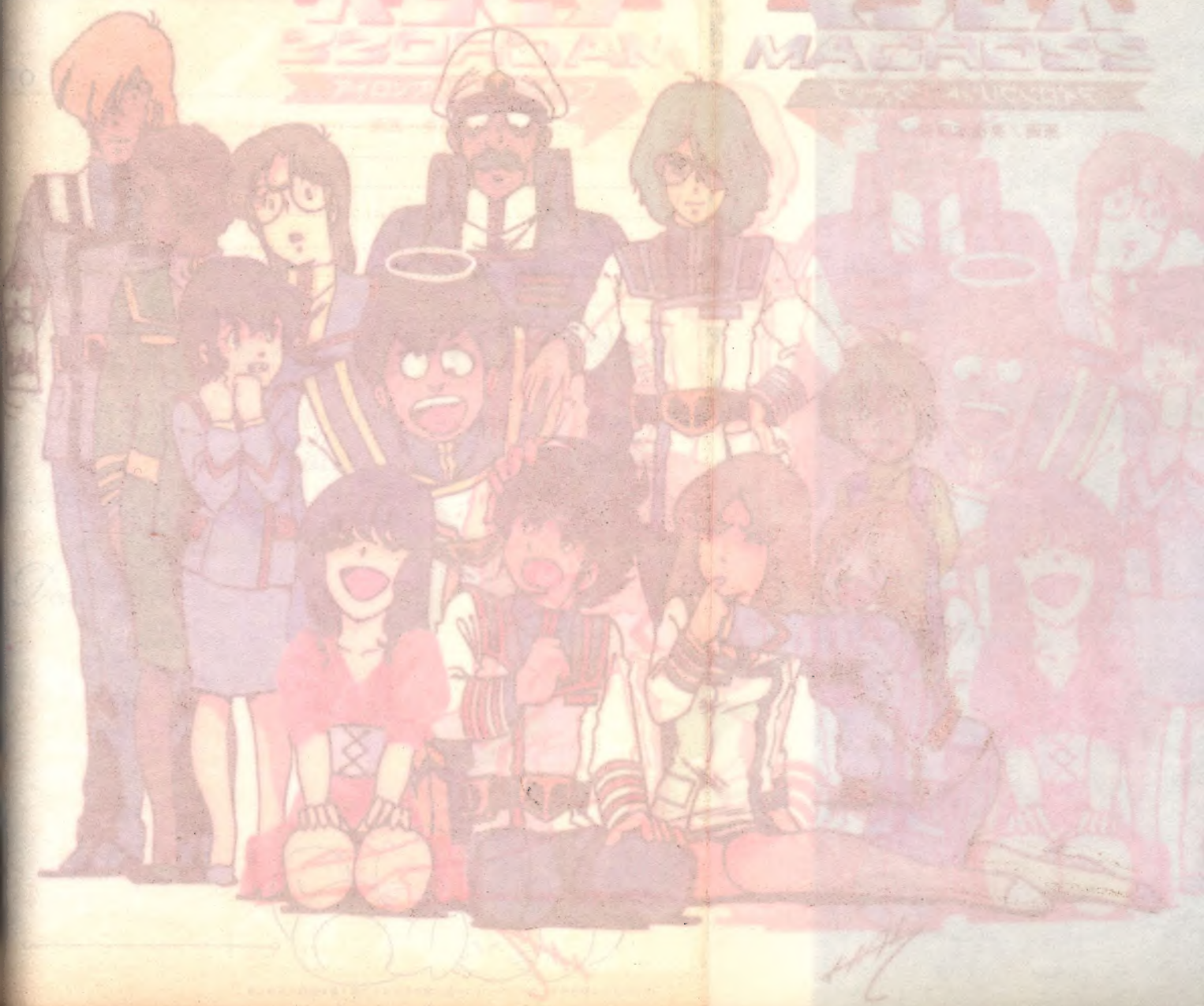
リン・ミンメイ バレンタイン バースデー カード

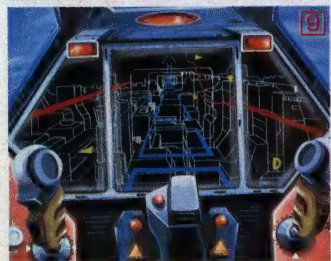
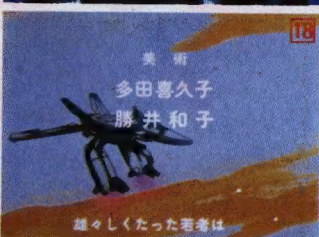
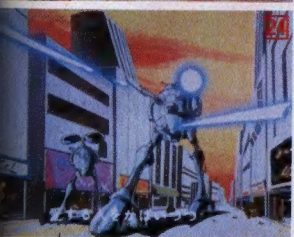
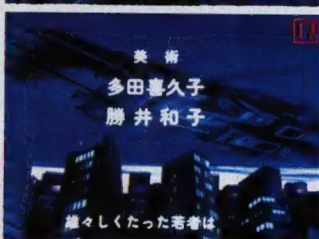
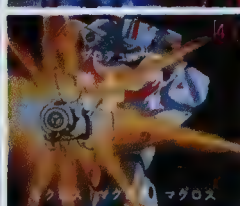
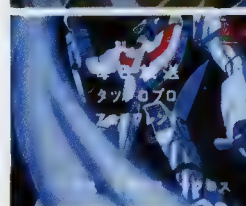
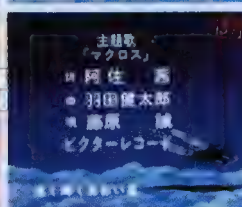
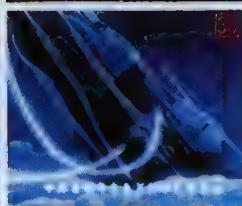
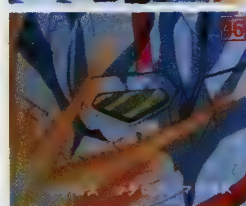
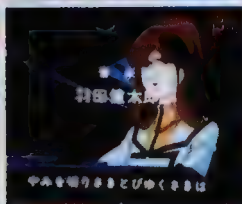
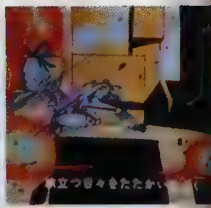
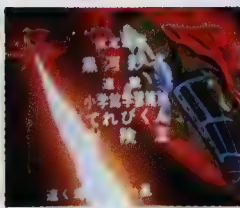
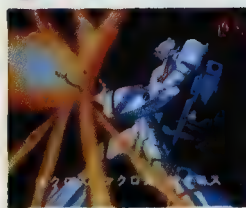
I·Love·You.....

St. Valentine's Day

Dear

From

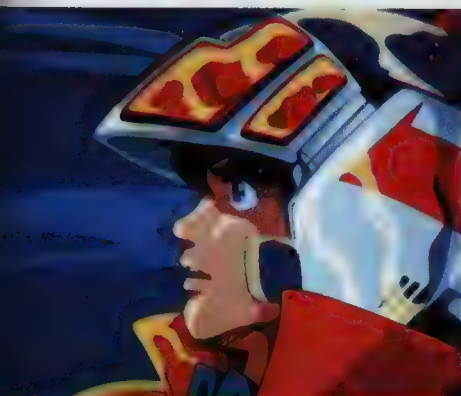
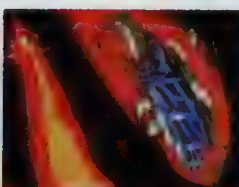
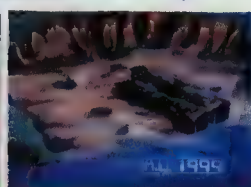
※このネコの絵は第７話でミンメイが輝に送ったバースデーカードを再現したものです。

超時空要塞
マクロス
MACROSS
アイロンプリント・ピンナップ
原画／美樹本晴彦

超時空要塞マクロス MACROSS

——西暦1999年。南アタリア島へ墜落した巨大宇宙船は、地球人の統一化を決心させた。その10年後、修復され〃マクロス〃と名づけられた巨大宇宙船の進宙式の日。マクロスの主砲が発射され、地球は宇宙規模の戦闘へと巻きこまれていった。「超時空要塞マクロス」1話〜12話フォトダイジェストストーリー。

O P E N I N G
45
46
プロデューサー
井上　明
岩田　弘
マクロス　マクロス　マクロス
主題歌
「マクロス」
羽田健太郎
ビクターレコード
毎日放送

●ブーピー・トラップ

BOOBY TRAP

1

◆脚本・松崎健一　◆絵コンテ・石黒　昇　◆演出助手・山賀博之　◆キャラ作監・美樹本晴彦　◆メカ作監・板野一郎　◆美術担当・勝井和子

バルキリーで離陸した輝は戦闘に巻きこまれてしまった

先導艦を2隻撃破した

1999年、巨大宇宙船の落下

地球側はやむなく戦闘開始

2009年、マクロスの進宙式

被弾した輝のバルキリー

しかし、圧倒的な敵戦力に

招かれたパイロット一条輝

キリモミ状態で落下する

防衛ラインを突破された

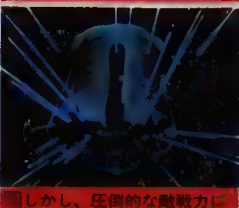
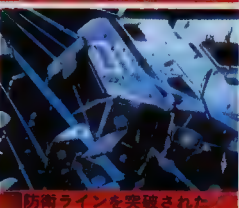
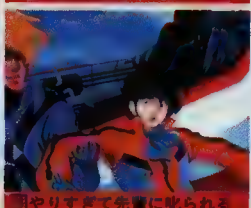
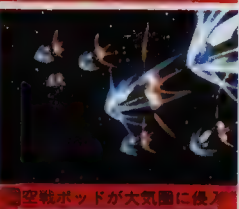
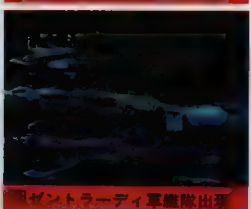
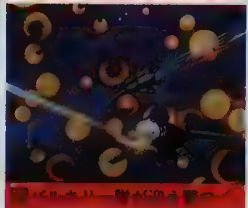
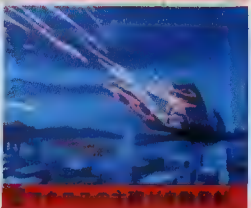
やりすぎて先輩に叱られる

状況を掴みきれない一条輝

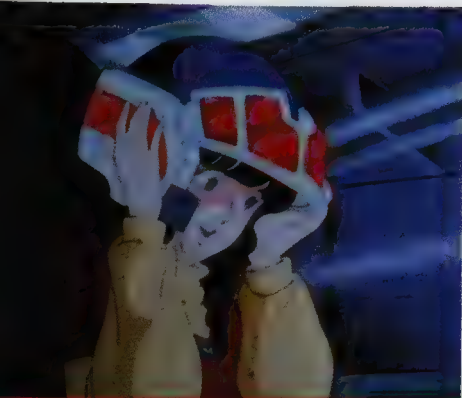
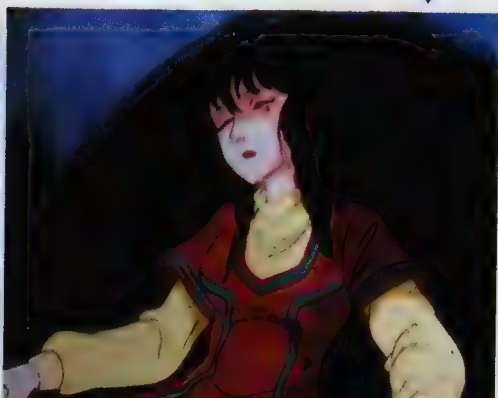
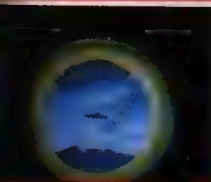
空戦ポッドが大気圏に侵入

ゼントラーディ軍艦隊出現

バルキリー隊が迎え撃つ

マクロスの主砲が自動発射

西暦2009年。地球は10年前に落下してきた巨大宇宙船を修復し、宇宙戦艦マクロスと名づけた。その進宙式の中、太陽系内に出現したゼントラーディ艦隊に反応してマクロスは主砲を発射。地球はゼントラーディ軍の攻撃にさらされた。パイロット一条輝は先輩のロイ・フォッカーに招かれ、この進宙式にい合わせ、偶然そのとき乗っていたバルキリーを任されて戦闘に駆り出されてしまった。被弾した輝の機はマクロス周辺の街に墜落した。

●スペース・フォールド

SPACE FOLD 3

◆脚本・松崎健一　◆絵コンテ・山田勝久　◆演出・康村正一　◆美術担当・佐藤広明

輝のヘルメットを斜めにかぶって寝…

バルキリーのコクピットで気絶しているリン・…

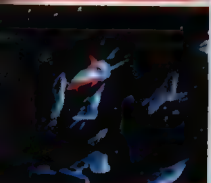
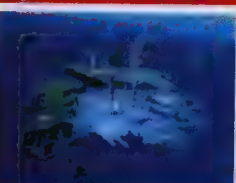
マクロスは冥王星軌道へ

レーサーに乗った輝た…

フォッカー機が帰艦する

死んだ巨人で動けない輝機

島もろとも空間転移した

宇宙に漂う輝のレーサー

…くゼントラーディ艦隊

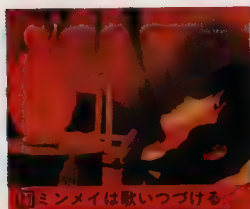
マクロスは南アタリア島

宇宙空間へと上昇したマクロスは、ゼントラーディ艦隊の攻撃から逃れるため、再び南アタリア島上空まで戻り、スペース・フォールドを敢行した。しかし、それはマクロスのみならず島ごと冥王星軌道まで空間転移するという事態を引き起こしてしまった。しかも、デフォールド後、フォールド・システムは消滅。地球へ戻るには通常推進を使用するしかなかった。マクロスは島の避難民、周囲に浮遊する物資の収容を急ぎ開始した。

●リン・ミンメイ

LYNN MINMAY

4

◆脚本・石黒　昇　◆絵コンテ・高山文彦　◆演出・高山文彦　◆演出助手・山賀博之　◆キャラ作監・美樹本晴彦　◆メカ作監・板野一郎　◆美術担当・勝井和子

ミンメイは歌いつづける。

「輝とうした…」…不安…

マクロス内、迷子の輝た…

死の影がふたりに忍び寄る

心配顔のリン・ミンメイ

「死んだらネズミの…

…り向く…

輝の作業服を着てニッコ…

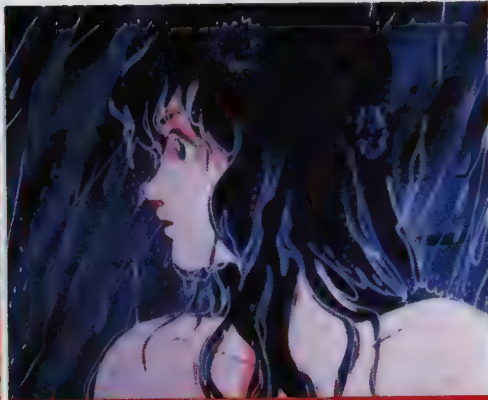
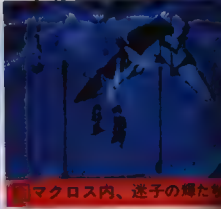
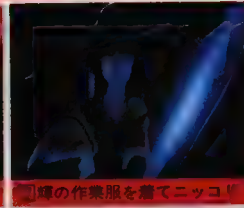
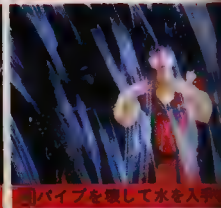
「道間違えたんじゃない？…

輝のスカーフをベ…のかわりにか…

「マグロ！　オサシミ！」

パイプを壊して水を入手

…輝の話を聞く

ミンメイは…シャワー…

フォールド直前にマクロスをレーサーで脱出した輝とミンメイは、フォールドに巻き込まれ宇宙空間へ転移した。なんとかマクロス内に戻ったふたりだったが、そこは閉鎖空間だった。通信器が破損し連絡するすべを持たないふたりは、輝の携帯食糧で命を繋いでいた。輝は簡易宇宙服を作り一度宇宙空間に出て連絡をつけようと計画したが、失敗。ミンメイは取り乱し心中を口走る。そのとき不発弾が天井に穴を開け、ふたりは救出された。

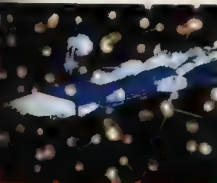
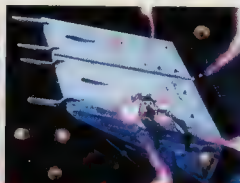
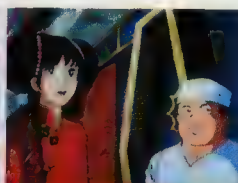
●トランス・フォーメーション

TRANS FORMATION 5

◆脚本・富田祐弘　◆絵コンテ・康村正一　◆演出・康村正一　◆キャラ作監・鈴木英二　◆メカ作監・板野一郎　◆美術担当・佐藤広明

主砲発射のため変型開始

戦闘ポッドがマ[illegible]スへ

チャイナドレ[illegible]

「お店は開かないの？」

マクロスの主砲が開く

ブリタイとエキセドル

マクロス[illegible]が完了し[illegible]

艦隊[illegible]の砲撃を[illegible]

「輝[illegible]」輝を心配するミンメイ

主砲のビームが敵艦へ飛[illegible]

グローバル艦長は決意し[illegible]

バルキリーが発進していく

「宇宙も飛べるんですね」

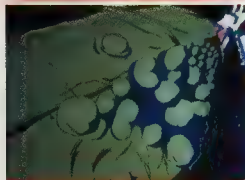
フォールド・システムの消滅は、マクロスの主砲も使用不能にしていた。マクロスの技術班はトランス・フォーメーションによって主砲発射が可能であることを発見したが、そのためには避難民がマクロス内に再建した街をかなり破壊することになってしまう。グローバル艦長は悩んだが、敵艦隊の砲撃の前に主砲発射を決意、トランス・フォーメーションを決行した。住民には多大な被害が出たが、以後主砲発射時の対応策が講じられた。

●ダイダロス・アタック

DAIDALOS ATTACK

6

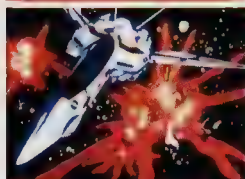
◆脚本・富田祐弘　◆絵コンテ・石黒　昇　◆演出・高山文彦　◆演出助手・山賀博之　◆キャラ作監・美樹本晴彦　◆メカ作監・板野一郎　◆美術担当・勝井和子

ダイダロス・アタック

ミンメイの

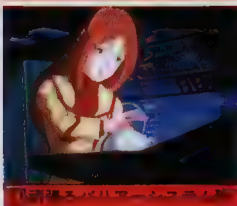
敵艦内でミサイルを乱射

未沙は艦長に新戦

出撃した輝のバルキリー

死線を

木星の影の中を飛ぶ輝

ピンポイント・バリアー

フォールド・システムの位置したスペースに奇妙なエネルギー反応が現われ、技術班はこれを局部的なピンポイント・バリアーとして活用するシステムを開発した。攻撃は最大の防御と、マクロスは敵艦に反撃を開始。しかしバリアー・システムが主砲を発射不能にしていることが判明した。そこで右腕部の空母ダイダロス前面にバリアーを集中、敵艦内で多数のミサイルを発射するダイダロス・アタックが発案され、これが功を奏した。

●バイバイ・マルス

BYE-BYE MARS

7

◆脚本・松崎健一　◆絵コンテ・山田勝久　◆演出・康村正一　◆作画監督・平野俊弘　◆美術担当・宮川佳子

輝は未沙を

「野郎ども、…攻始だ」

ライバー…のあこが

…の隊が…

「放して…

マクロスはワナにかかっ

「火…決定したのね」

火星を見つめる早瀬未沙

未沙はライバーの部屋

「私も軍人になって火星へ

離れゆく火星は、まるで血の色のように赤く光っていた

統合戦争の際、封鎖されたはずの火星サラ基地からの発信がマクロスに届いた。物資補給のためマクロスは進路を火星へと変えた。ブリッジの未沙はサラ基地にいたはずのライバーに想いをはせる。マクロスの火星着陸後、未沙は基地内の調査に向かった。基地内に人の姿はなく、自動通信もごく最近再開されたものだった。基地周辺に仕かけられた重力機雷のワナからマクロスを脱出させるため、未沙は基地の反応炉を暴走させた。

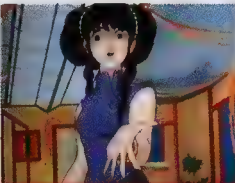
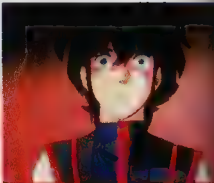
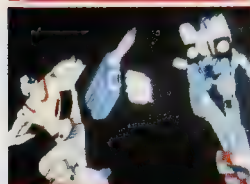
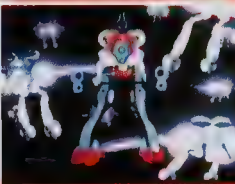
●ロンゲスト・バースデー

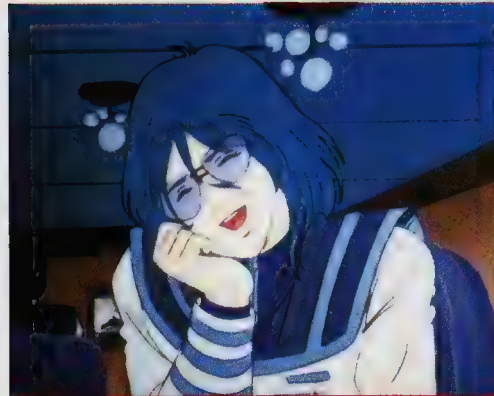
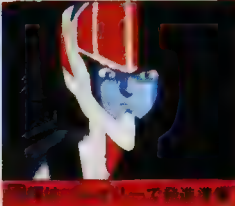
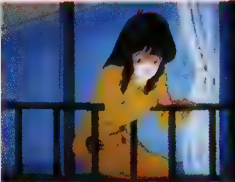
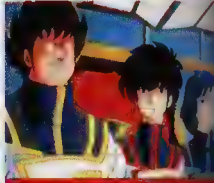
LONGEST BIRTHDAY

8

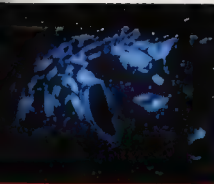
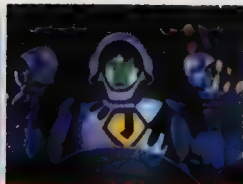
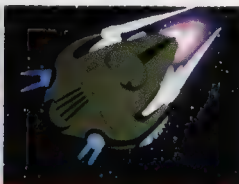
◆脚本・松崎健一　◆絵コンテ・山田太郎　◆演出・園出　浸　◆キャラ作監・鈴木英二　◆メカ作監・板野一郎　◆美術担当・佐藤広明

カムジンのグラージの攻撃

ふたりの部下を連れて出撃

カムジンがマクロスに迫る

カムジンの隊が出撃した

「なにいってんの」

2009年10月10日。この日、輝は未沙を救出したことで少尉に昇進、ふたりの部下を持つことになった。同じ日、ミンメイは16歳の誕生日を迎え、バースデーパーティを開いていた。輝はプレゼントを忘れ、後で必ず持ってくると約束した。そのパーティの途中、ゼントラーディの攻撃が始まり、輝たちは出撃しなくてはならなかった。マクロスに戻った輝は、プレゼントを買うことができず、その日受賞したチタニウム勲章を渡してしまった。

●ミス・マクロス

MISS MACROSS 9

◆脚本・富田祐弘　◆絵コンテ・山賀博之　◆演出・山賀博之　◆キャラ作監・美樹本晴彦　◆メカ作監・板野一郎　◆美術担当・勝井和子

爆発のショックで宙を漂

強行偵察艇の3人の乗組員

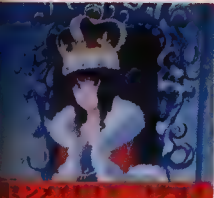
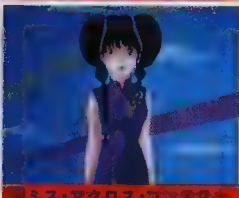
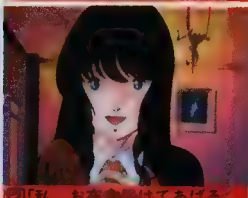
ゼントラーディ強行偵察艇

ミンメイと輝のデート

ミンメイ

輝はミサイルを発射した

ミス・マクロス・コンテスト

「私、お夜食届けてあげる」

「ミンメイが女王？……」

偵察艇内に侵入した輝

リン・ミンメイは町会長の推薦で出場することになった

ミンメイは輝の手の届かない世界へ歩み始めてしまった

水着姿のリン・ミンメイ

アーマード・バルキリー

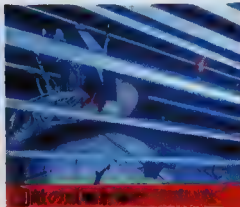
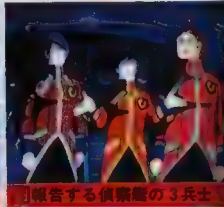
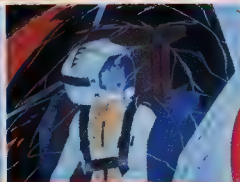
輝はひとりでパトロール

マクロス艦内放送開局を記念して〝ミス・マクロス・コンテスト〟が行われることになった。町会長の推薦によって、ミンメイも出場することになり、輝は当直を投げだして会場にかけつけた。
しかし、艦内放送で名差しの指名を受け、輝はひとりパトロールへと向かわなければならなかった。宇宙に出た輝はモニターでコンテストを見ていたが、敵の偵察艇と遭遇し交戦状態に突入する。その間にミンメイがミス・マクロスに選ばれた。

●ブラインド・ゲーム

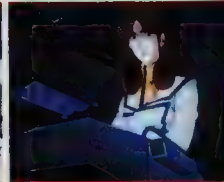
BLIND GAME 10

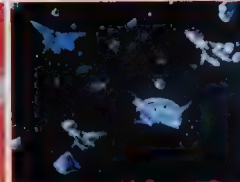
◆脚本・松崎健一　◆絵コンテ・高山文彦　◆演出・吉田　浩　◆キャラ作監・鈴木英二　◆メカ作監・鄭　裕袴　◆美術担当・佐藤広明

捕獲された未沙を救出するため輝の小隊は敵艦に突入した

報告する偵察艦の3兵士

柿崎機が被弾、輝隊は帰還

ブリタイを抑えたマクロス

早すぎる退却に怒る未沙

真空中も行動できる恐しさ

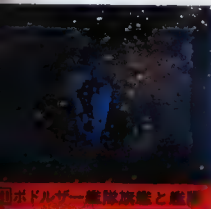
輝の言葉が未沙の心を刺す

未沙と輝隊が偵察に出動

ゼントラーディによる無線妨害が解除され、マクロスは地球と連絡がとれるようになった。しかし、その数分後、威嚇射撃とともにゼントラーディから降伏勧告が送られてきた。このときの一撃でマクロスはレーダーが使用不能となり、未沙が偵察に出た。輝のバルキリー小隊はその護衛として同行。輝隊は誘い出され、未沙の機は捕えられてしまった。輝たちはこれを追い、敵戦艦に侵入。未沙救出寸前、ブリタイにより阻止された。

●ファースト・コンタクト

FIRST CONTACT 11

◆脚本・富田祐弘　◆絵コンテ・黒河影次　◆演出・高山文彦　◆演出助手・山賀博之　◆キャラ作監・美樹本晴彦　◆美術担当・勝井和子

未沙、輝、柿崎の３人はゼントラーディの捕虜となった。３人はゼントラーディ旗艦艦隊に連行され、艦隊司令による訊問を受けた。その間に未沙たちはゼントラーディの圧倒的な戦力やその社会構造などについて数多くの事実を見聞きした。その多くは未沙たちを圧倒し、また混乱させるものだったが、いくつかの推論が得られた。

ボドルザー艦隊旗艦と艦…

ブリタイに…

第118艦隊司令ボドルザー

…を告げられ…

輝は…

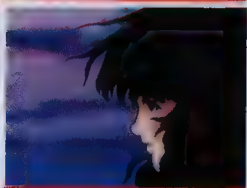
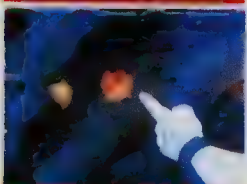
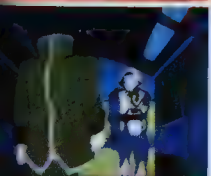
未沙たちは訊問も…

放心状態に近いミンメイ

…人たちはキ…

デフォールド空域の…

脱出しよ…

マックスは敵の軍服を入…

マックス機のみ脱…

●ビッグ・エスケープ

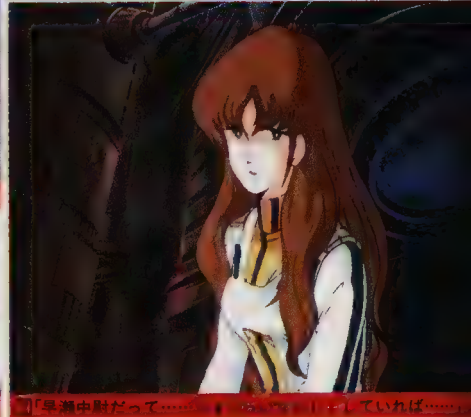
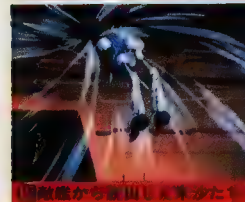
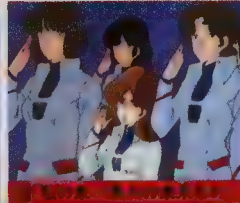
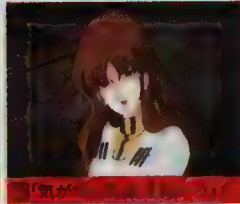
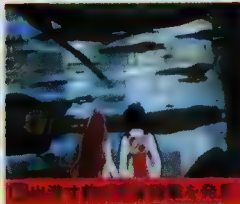
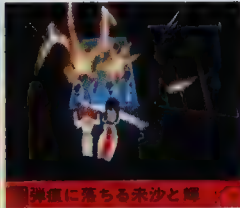
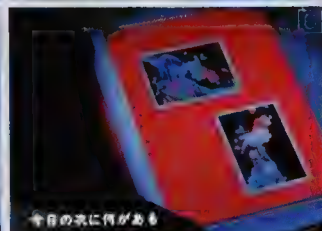
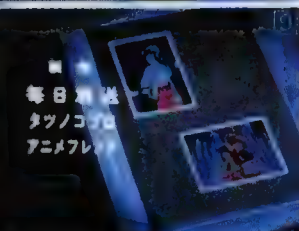
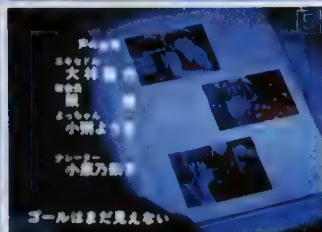
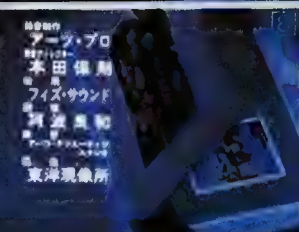
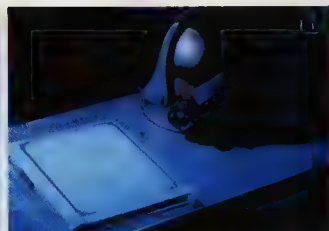
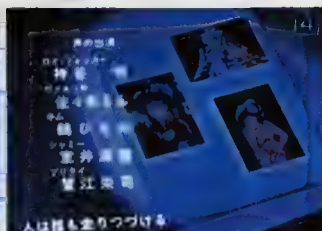
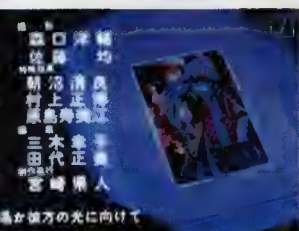
BIG ESCAPE

12

◆脚本・富田祐弘　◆絵コンテ・黒河影次　◆演出・秋山勝仁　◆作画監督・平野俊弘　◆美術担当・佐藤広明

弾痕に落ちる未沙と輝

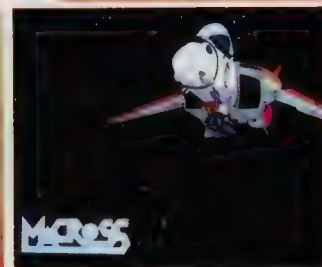
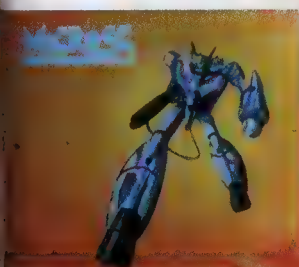
マックス機で全員脱走

マイクローン過程を目撃

輝たち3人は脱走を決意した。幸いなことに敵の目を逃れ艦内に潜入していたマックスのバルキリーが現われ、合流した4人は敵艦中を逃げまわる。その途中、未沙と輝、柿崎とマックスに別れた4人は開け放たれたエアロックで出会い、発進準備をしていたラプラミズの艦に潜り込んだ。この艦が偶然、マクロスにマイクローンスパイを送り込む任務を帯びていたため、輝たちは戦闘ポッドを操縦して、マクロス帰還に成功した。

E N D I N G

ENDING(MS)

マクロス・スペシャルのときは右のように、レーサーが夕陽の中を飛びつづけるエンディングが使われた。

EYE-CATCHER

右下がマクロス・スペシャル（1・2話）で使用されたもの。その隣は3話のみ。4話以降は下のものが使われている。

MACROSS FAN MAGAZINE まっくろす

NO

1

SUBTITLE

「マクロス」って、
すっごいアニメなんだぜ！

ドラマがおもしろいとか、キャラがかわいいとか、メカやSF設定がこっているとか……。「マクロス」にはいろいろなおもしろさ、おいしさがつめこまれている。いったいどんなスタッフが、そのおもしろさをつめこんでいるのか？　マクロススタッフの多大な協力と原画だけでつくられた「マクロス」を20倍たのしむ全14ページ。はじまるよッ！

この扉はスタッフが冗談でつくった、河森氏似顔絵入り絵コンテ表紙を流用したものです。

●総演出

"日常と非日常の同居"がマクロス

昭和13年8月24日生。38年に「鉄人28号」の動画を描いて以来「鉄腕アトム」「ジャングル大帝」などの虫プロ作品を手がけ「旧ヤマト」のアニメーションディレクター、「ヤマト」「ヤマトII」「鉄腕アトム(新)」でC・Dを担当。ほか多数の作品を経て現在に至ったテレビアニメ界の"歩く歴史"のような人。氏がひきいるアートランドはキャラ作監の美樹本晴彦氏、メカ作監の板野一郎氏、演出助手の山賀博之氏ほか何人かの原動画マンが所属し、スタジオぬえとともに「マクロス」の企画当初からの重要な柱となっている。

新宿超高層ビル群を間近にしたアートランドのスタジオに氏をたずねてインタビューした。

■ずばり、マクロスのおもしろさってなんだと思いますか?

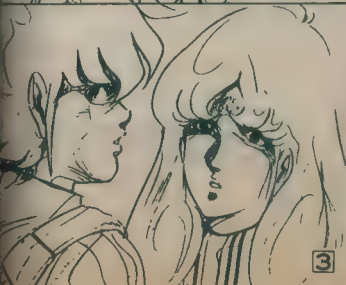
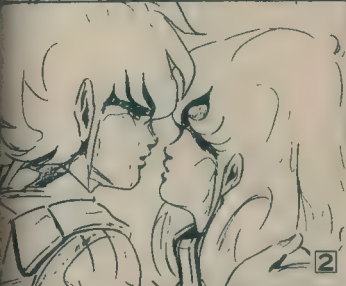
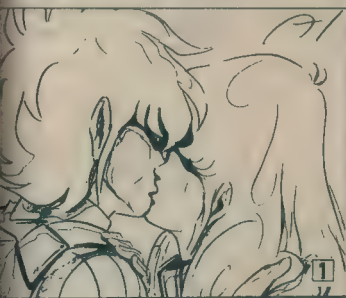
「う～ん、それをひとことでいいあらわせないところがマクロスのおもしろさだと思うんだけど。そのベースは宇宙戦艦の中にごくふつうの都市があり、しかもその宇宙船がロボット型に変形する設定自体のバカバカしさにあると思うね。いままでのアニメは、大きくふたつの分野にわけられる。たとえば、超能力や魔法などの設定が付加されていても、あくまで日常を舞台にした『うる星やつら』のような分野と『ガンダム』『ヤマト』のような戦いや宇宙空間という非日常が舞台となったもの。マクロスはその両方をかね備えているんだな。"非日常と日常の同居"これがマクロスのおもしろさのおおきな要素でしょうね」

■それを演出上でどのように意識していますか?

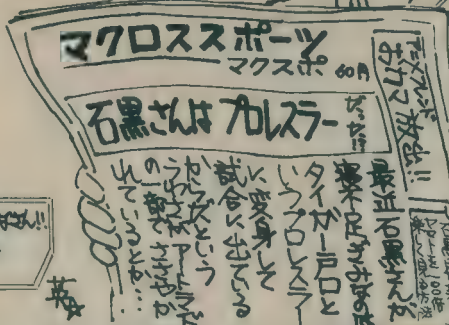
「まず、非日常の世界を描くには、それを見る人に納得させるため、日常を描く以上に"らしさ"が要求されます。たとえばメカ設定はもう本当にそのまま実在してもおかしくないぐらいリアルにつくるとかね。でもその使い方はまるでじょうだんみたいにブッとんでる。このセンスをうまく表現したい。そしてそれに同居している日常はあくまでエネルギッシュに、かつ人間くさく描く。これは文化的な日常のないゼントラーディ人との接触が作品の大きな流れであることからも重要なことだし、ストーリーの息ぬきにもなる。このふたつの要素をうまくからませることが大切だと考えています」

■全36話に延長が決定しました。今後の抱負を。

「『ヤマト』以来ひさびさに完全燃焼している作品です。がんばるゾ!」

ゼントラーディ人に"プロトカルチャー"
ョックを与えたキスシーン（第11話）

❶アートランドのコーナー

本来はこのコーナー、石黒さんが描く予定でしたが寝不足のため欠場、かわりに原画の島田英明氏が担当しました。下は11話演出の高山さんの自画像です。

芝居として成功した第12話

秋山勝仁

12月26日に放映された第12話『ビッグ・エスケープ』はゼントラーディ人への推測、未沙の過去の話などストーリー面でも、動画枚数約6000枚という動きの面でも出色の出来だった。演出を担当したのはアニメフレンド所属の秋山勝仁氏。「じゃりン子チエ」「テクノポイジャー」「ダッシュ勝平」などの演出も手がけている。「マクロス」は第12話がはじめて。

■「マクロス」に参加したきっかけは?

「ぼくがはじめて演出をした『ゴーディアン』で河森正治さんと知りあったのが、そもそものきっかけですね」

■12話のかなめ、早瀬未沙について?

「表面上はとっても強そうだけれど、本当はすごく女性的な部分が大きい人じゃないかな? 軍隊育ちなので、考え方、思想もしっかりしているけど、いったん任務を離れると意外にモロくて女らしい。それがでた12話のBパートは演出的にも非常にやりがいのあるものでした。芝居として非常におもしろい。スタジオ・イオの作画もよかったし、もっと時間をかけて、もっと完成度を追求してみたかったですね」

●キャラ作監

キャラが作品の方向を決定！ 最初はギャグだった

美樹本晴彦

昭和34年8月28日生。「新ルパン3世」「鉄腕アトム（新）」「白い牙」などの原動画を手がけ、「マクロス」で初のキャラ作監を体験。高校時代の同学年に河森正治氏、現在まんが家の細野不二彦氏、第17話の脚本を担当した大野木寛氏がいた。スタジオぬえに出入りをはじめたことがこの世界にはいるきっかけとなった。現在、慶応大学工学部をすんなりと中退、アニメに専念している。

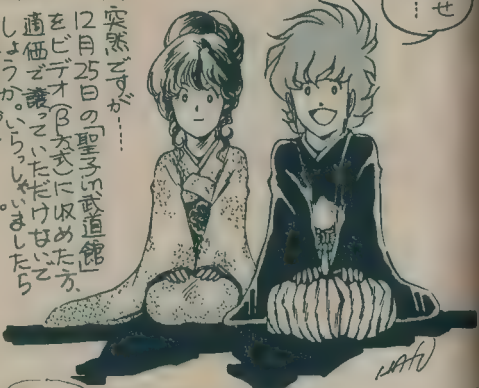
■企画の一番最初の段階から製作に参加していたそうですが、そのへんのいきさつを教えてください。

「企画の発端は、ちょうど「ガンダム」の本放送が終了したころ。ぬえが作った企画のつけたしで考えられたものでした。巨大な宇宙人に巨大ロボットで対抗するという、完全なギャグアニメとして考えられ、そのころ、ぼくが落書きで書いていたチャイナドレスの女の子をヒロインにだそうという企画でした」

■ギャグアニメというと、どんなストーリーを考えていたのですか？

「たとえばマクロス艦内を走る電車で乗っ取り事件が起きて艦長が誘拐される。そこから起こるドタバタ劇とか、町の電話ボックスがエレベーターになってそのまま艦長室に通じているとか。宇宙船の中でスターを夢みる中華料理店の娘をめぐるスペースーロマコメですね。タッチはいまの『うる星やつら』のようなもので、輝なんかもかなりアッパラパーなキャラクターでした」

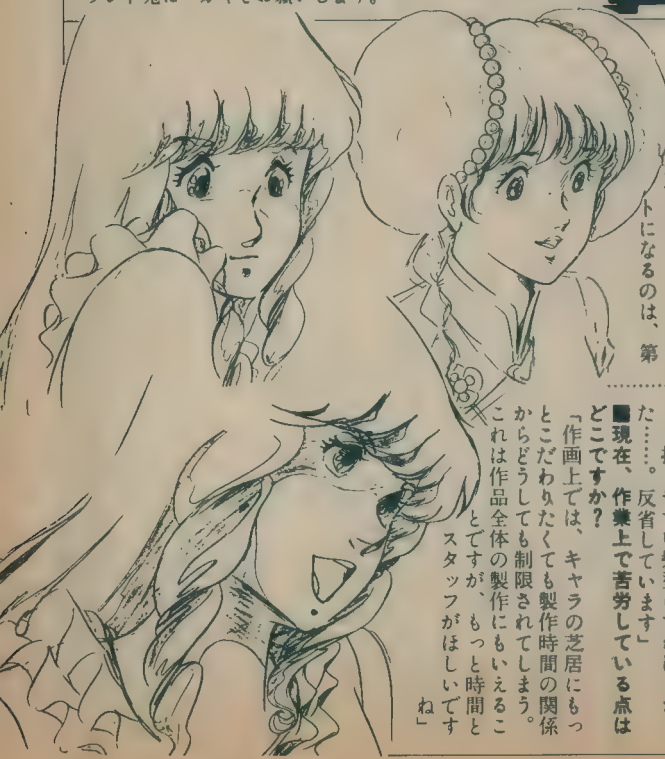
■それがいまのような作品になったのはどういう経過で？

「ぼくがキャラデザインを重ねていくうちにだんだんシリアスが似あうキャラになってきた。それで、敵側設定や人物関係などをハードに決めていく方向に自然になりました」

美樹本晴彦のコーナー

美樹本氏は松田聖子の大ファン。仕事部屋はポスターでうまり、石黒・板野氏と共にファンクラブにも入会している。最近一番感動したことは？　と質問したら「聖子の武道館コンサートに行ったこと」という答。ところが最近は中森明菜にも手をだしはじめている。そこで敢然と明菜ファンののろしを上げたスタッフがいた。スタジオぬえの制作担当、森田繁氏だ。ここに氏の寄稿文を掲載する。題して「私はいかにして中森明菜したか」。

私は中森明菜のファンである。それも「少女A」以降のファンではない。昨年5月1日に「スローモーション」でデビューして以来の、いわば年季のいったファンなのである。ちゃんとファンクラブにもはいっている。なぜファンなのかと問われても答えようはない。これはもう、病気のようなものだからだ。最近はネコも杓子も明菜アキナとはしゃいでおり、いささか不愉快である。はっきりいって明菜は私のものだ。他の何人のものでもない。文句のある人はいつでも来なさい。私はだれの挑戦でも受けて立つ。(以下略)

リン・ミンメイのアイドル歌手としての描写のうまさは、このようなスタッフのたゆまぬ努力に裏づけられたものだったのである。なおビデオの連絡はアートランド宛にハガキでお願いします。

■キャラが作品の方向を決めてしまったわけですね。現在、キャラ作監としては具体的にどういう作業をしていますか？

「まず演出さんがチェックした原画のキャラ修正。自分が設定したキャラですし、場合によっては自分の芝居の好みで原画を描きなおすといった作業ですね」

■未沙の髪型がユニークですね。

「あれはもともと単なる内巻きの髪なんですが、作画上ああなってしまって、そのうちに後ろにもデンデン虫型の髪型ができてしまった。でも水でぬれるとストレートになるのは、第12話でおみせしたとおりです」

■ミンメイの髪型などは意外に描きにくいのでは？

「そうですね。動画にしたときにもっと描きやすい髪型にすればよかった……。反省しています」

■現在、作業上で苦労している点はどこですか？

「作画上では、キャラの芝居にもっとこだわりたくても製作時間の関係からどうしても制限されてしまう。これは作品全体の製作にもいえることですが、もっと時間とスタッフがほしいですね」

●キャラ作監

イオが作るとマクロスはロリコンになる?

平野俊弘

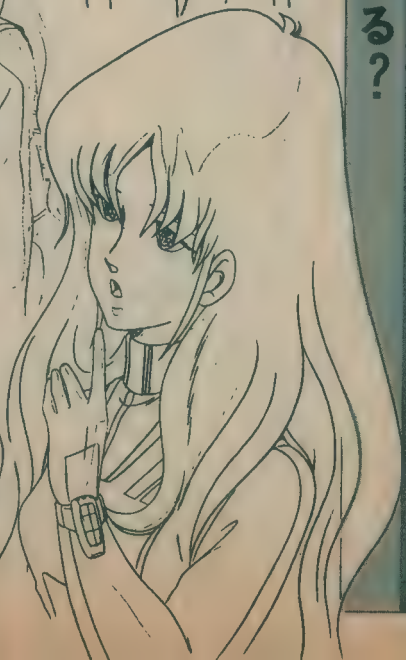
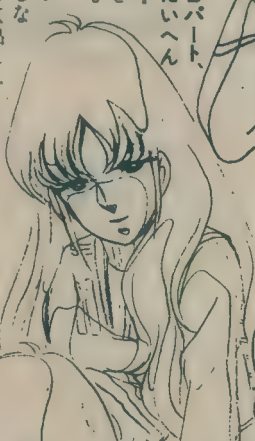
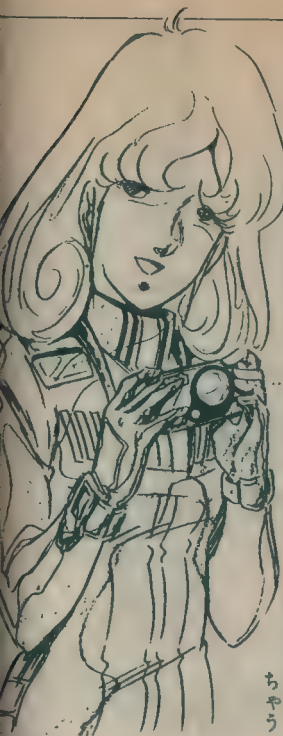
昭和31年10月3日生。千代田デザイナー学院を卒業後、野田卓雄氏のスタジオNO・1に入社。金田伊功氏らとともに仕事。「ガイキング」「ハーロック」の原画、動画、「さらばヤマト」の動画チェックを経て、湖川友謙氏のスタジオ・ビーボォーに移り「イデオン」「ガッチャマンF」を手がける。以後独立してスタジオ・イオを設立。「映画Dr.スランプ」「うる星やつら」などを経て「マクロス」のキャラ作監となる。

■イオの構成メンバーは?

「81年10月の設立当時のメンバーは6名だったのですが、現在は私を含め今渡雄一郎・垣野内成美・小林明美・手塚由紀の計5人です」

■イオが作画をした第4話Bパート、第7話、第12話はキャラがたいへんかわいいという評判ですが?

「わりと自分の好みでどんどん描いちゃうんですね。でもキャラ設定の美樹本くんが、多少キャラの顔がちがってみえても、かわいければ修正しないでOK出しちゃう人ですから助かっています。未沙なんかはうちの垣野内が描いているんですが、設定では白目がほとんどないはずなのに、どんどん目が大きくなっちゃうんです。目が大きいと表情がつけやすくなるんですが、ほっておくとまるでロリコンまんがになってしまうので、私が修正して年齢を保たせるんです。ですから13歳の未沙などは彼女の得意技ですよ」

■第12話・Bパートの未沙と輝の会話のシーンは特によかったですね。

「それはうれしいな。ああいうアクションがなく、芝居で勝負するしかないシーンは描き手にとってかなりしんどいです。でも第7話からの未沙への思い入れもあったし、楽しんで描けました。時間があれば表情に影をつける〝色トレス〟をもっとふやしたかったんですが……。髪がぬれてストレートヘアになった未沙はなかなかかわいいでしょう?」

/スタジオ・イオのコーナー

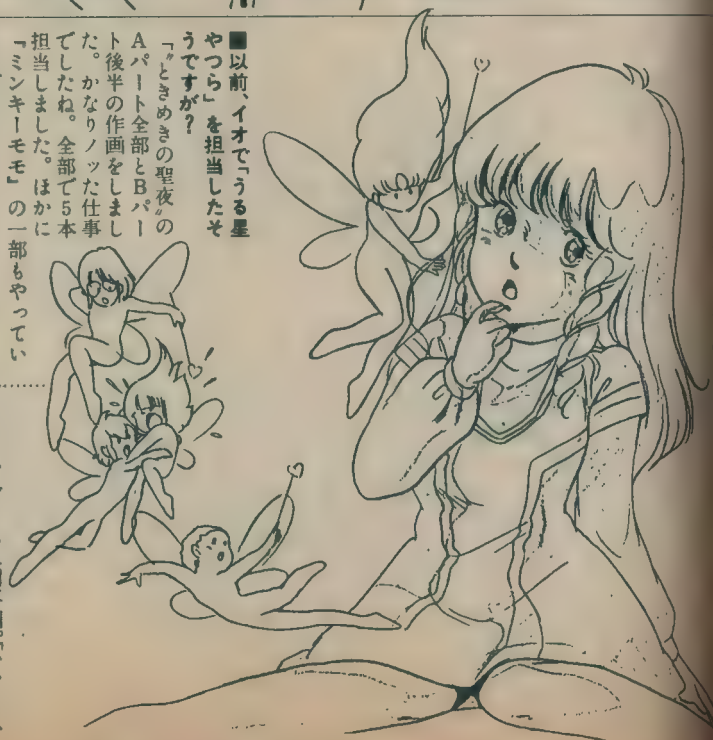
上の写真、左から今渡雄一郎氏、小林明美さん、手塚由紀さん、垣野内成美さん、平野俊弘氏だ。イオは女性メンバーが多く、他のセクション（アートランド）のスタッフからねたむ声もあるほど。

さて、イオの担当した第7話、第12話の早瀬未沙は実にかわいく、いままでは"年増のオバサン"といわれていた彼女を見事に救済してくれた。『救われないキャラクターに愛の手を！』をスローガンにしているイオが、つぎに救済するのは、とってもかわいそ〜な柿崎速雄である。第19話に注目！

■以前、イオで「うる星やつら」を担当したそうですが？

「"ときめきの聖夜"のAパート全部とBパート後半の作画をしました。かなりノッた仕事でしたね。全部で5本担当しました。ほかに「ミンキーモモ」の一部もやっているんですよ」

■スタジオNO・1にいたそうですが、金田アクション的な作品は？

「実はそれがやりたくて仕方がないんですが、なぜかそういう仕事がまわってこない。アニメ界にはいって一番はじめにおぼえたテクニックなのにね。ピーポォーで「イデオン」をやったときにはメカに板野くんがいたし、ぼくは人間専門。「マクロス」には板野くんにひっぱりこまれたんですが、やはりキャラ中心でね。でも、いつかやりたいですね。金田アクション」

■この3月にはイオが原画を担当した「クラッシャージョウ」が上映される。現在「マクロス」の第19話"バリアーバースト"を作画中。

▲原画・垣野内成美さんの描いたロリコンミンメイ

おまたせ！ 河森正治の『マクロスメカ講座』

河森正治

昭和35年2月20日生。学生時代スタジオぬえに出入りしていたのがきっかけで入社。「ゴーディアン」「ゴールドライタン」「ユリシーズ31」「テクノポリス21C」「クラッシャージョウ」などのメカデザインを手がけ現在にいたる。右の写真、およびイラスト（アートランドの落書き）のごとく闇に身を潜める術を得意技とする。黒河影次名義で2・12・19話の絵コンテを執筆している。

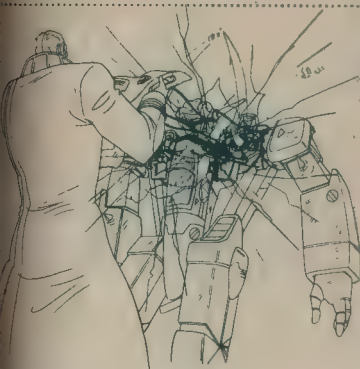
■「マクロス」における科学考証はどの程度までを考えていますか？

「最初の発想がギャグでしたし、マクロスの世界の中でのつじつまあわせ程度ですね。もし、ぬえで科学性を完全に追求するなら『マクロス』は選択しなかったでしょう」

■ではそれをふまえたうえでSF設定への質問をどんどんいきます。まず、バルキリーの名の由来は？

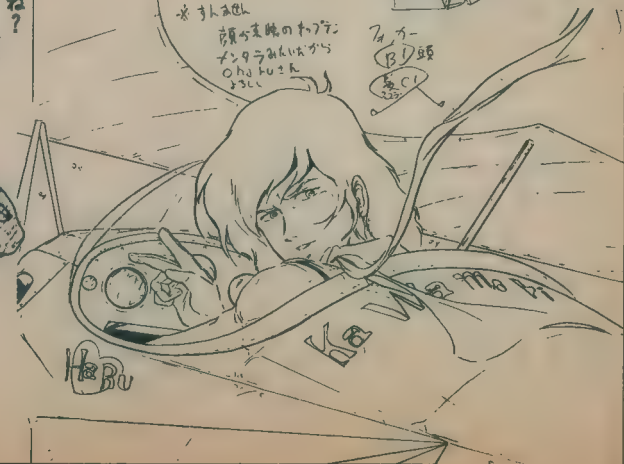
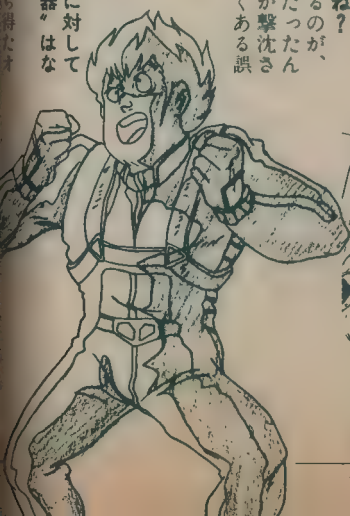
「人類側の兵器の名はすべて現在の兵器名を流用しています。バルキリーはアメリカのXB―70という、いまのB―1音速爆撃機の原形となったもの。博物館に1機だけ現存してます」

■宇宙空間における長時間の空中戦は燃料の関係上、不可能では？

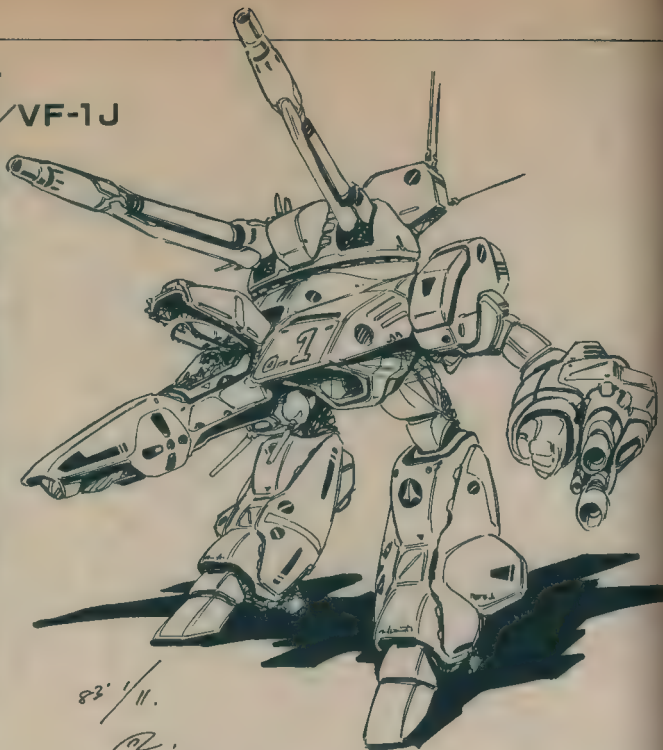
「ええ、現実的にはバルキリーの場合ノーマルで約3分、バーニアを多用した高機動戦闘の場合1分以下でしょう。本当は増槽をつけたいのですが、営業上の問題がありまして……」

■すると「マクロス」に戻るまでに燃料切れするバルキリーが大半ですね？

「ええ、実はそれを回収するのが、〃アームドI・II〃の役目だったんです。第1話でアームドIが撃沈されたというのは戦時下によくある誤報で、あのときは出撃した戦闘機を月までの距離の中間ぐらいまで回収にいっていたんです。そして第3話でドッキング地点に戻ってきたというわけです」

■第1話でゼントラーディに対して非常に有効だった〃反応兵器〃はなぜ多用しないのですか？

「反応兵器とはマクロスから得たオ

⊘河森正治のコーナー

アーマード・ガウォーク／VF-1J

ＶＦ－１シリーズは陸上戦闘において、その大出力が有効に利用しきれず、費用対効果の劣悪な兵器となることが開発当初より判明しており、統合軍はＦＦ－2001熱核タービン・エンジンの出力に見合った兵装と装甲の実戦化を開発メーカに要求。多くの案が提出された。これはそのひとつ。河森重工が社内公募により水品隆史氏の案を採用デザイン化し、軍に提出したもの。主砲のマウラーＰＢＧ－53液冷式荷電粒子ビーム砲は、きわめて強力であり、また全体の装甲も信頼性の高いものだった。しかし惜しむらくはその全備重量が59.6トンにもなり、アフターバーナーを噴かしてもホバリングは不可能という点。そして兵器のほとんどが使いすてできないため、バルキリーにチェンジできないなどの点から、軍に相手にされず机上の空論に終わった。（文責／渡辺）

ーバーテクノロジーと核兵器の理論を総合して開発されたもの。アームドＩに搭載されていたものは全長約30メートルというもので、まだ量産がはじまった状態なのです」

■マクロスは主砲以外の砲をなぜ、撃たないのですか？

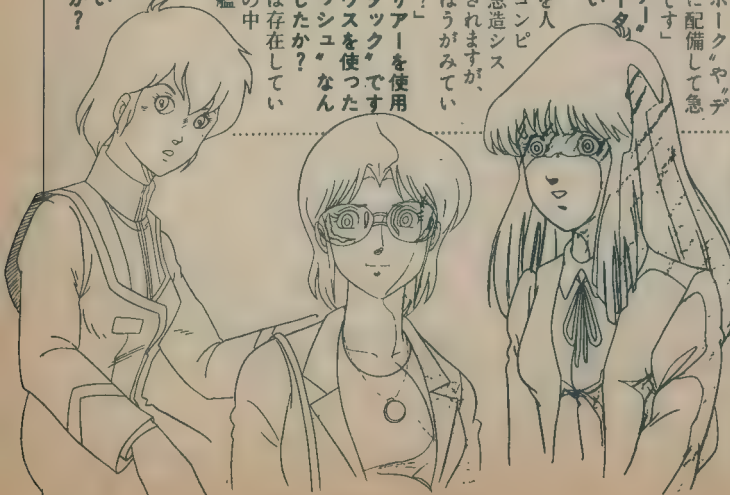
「進宙式当日までに砲の艤装がすんでいなかった。処女航海のあとですえつける予定で砲身だけがついている。要するにハリボテです。結局それの代用として〃トマホーク〃や〃ディフェンダー〃を艦外に配備して急場をしのいでいるわけです」

■〃ピンポイントバリアー〃ですが、なぜコンピューター制御にしないのかという点については？

「あれは大まかな位置を人間が決定し、微調整をコンピューターが行うという急造システムです。いずれ改良されますが、女の子が操作していたほうがみていておもしろいでしょう？」

■そうですね。そのバリアーを使用した〃ダイダロス・アタック〃ですが、左手側のプロメテウスを使った〃プロメテウス・クラッシュ〃なんていうのは考えられましたか？

「はい、当初の企画では存在していました。プロメテウスの中からバルキリー機が戦艦につっこんで飛びぬけていくという……。話数の関係でボツになりましたが」

■バルキリーについている⊘印はなんなのですか？

「メカデザインをしたときに、見た目のバランスでつけ加えたものですが、艦に固定する金具をつける部分であるとか、バーニアであるとかいろいろな説がでています。明確な用途は決まっていないようです」

■最後に〃フォールドシステム〃はどこに消えたのでしょうか？

「どこでしょう？おかげで艦内に街ができましたからいらないでしょう」

■突然、またあらわれたりして……。

●メカ作監

メカの動きは遊び心と体力で勝負なのだっ！

昭和34年3月11日生。「キャプテンハーロック」の動画でこの世界にはいる。「ドラえもん」「ダンガードA」「ガンダム」「イデオン」を経て、アートランド所属になり現在にいたる。

■まずメカ作監とはどんな仕事ですか？

「メカの動きやまちがいを修正するわけだけど、キャラとちがって部分修正は不可能。全部描きなおさなきゃならない。『マクロス』のメカは線が多いしね。からだをこわす仕事ですね」

■第10話でマックスの機体にたくさんミサイルをつけたのは板野さんの修正だそうですね？

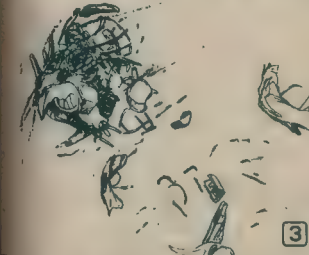
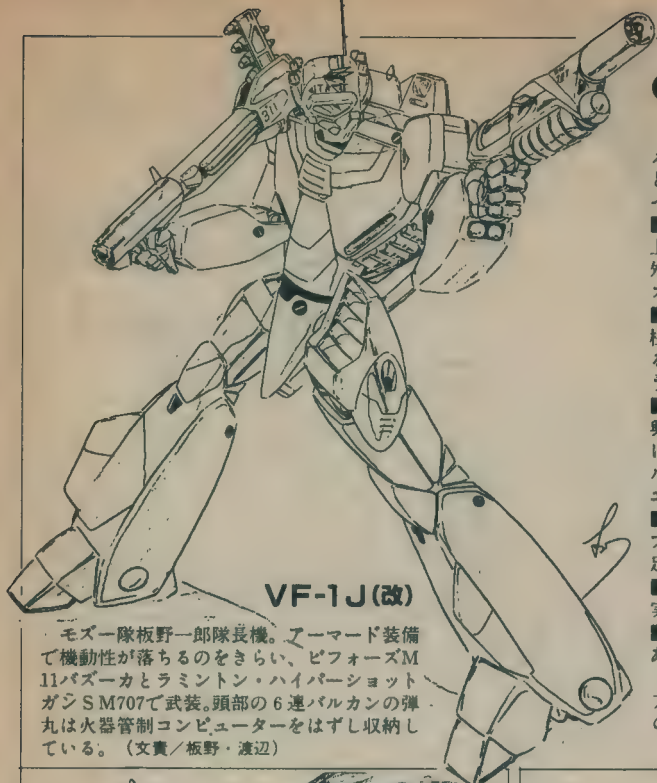
「ええ、あれはマックスが敵の偵察機〝バックアイ〟をこわすシーンですが、第9話で同型機を輝が〝アーマード・バルキリー〟の全弾を撃ちつくして、なんとかきれつをいれています。それが第10話の原画ではビーム1発でこわれてしまっている。そこで修正の時に目いっぱいミサイルを描き加えて、これを一斉発射させたというわけです」
（上の原画を参照のこと）

■メカの動きをカメラがアングルを変えながら追いすがっていくという感じの作画がすばらしいですね。
（P38・39の原画参照）

「それはどうも。自分で見たい方向の見たい動きを描いていくと、どうしてもそういう動きになるみたいですね。ただし、固定アングルのときとちがって動画の方にその感覚を伝えにいくので、結局自分で作画しなければならない。描くのは楽しいんだけれども時間が足りなくて……。番組開始直後にはまだ余裕があったのであんなこともできたんですが」

■「ガンダム」「イデオン」ではどんな仕事をしていますか？

「まず『ガンダム』は第5話からはじめて、名まえがでたのは第34話から。安彦良和さんの下で働いていました。後半はほとんどメカだけを担当、安彦さんが過労で倒れてからは作監のまねごともやりました。
『イデオン』では湖川友謙さんのところで、やはりメカを担当、安彦さんから人物を、湖川さんからはパースのとりかたを特に勉強させていただきました」

後席の女の子はポスターです（第15話より）▶

VF-1J(改)

モズー隊板野一郎隊長機。アーマード装備で機動性が落ちるのをきらい、ピフォーズM11バズーカとラミントン・ハイパーショットガンSM707で武装。頭部の6連バルカンの弾丸は火器管制コンピューターをはずし収納している。（文責／板野・渡辺）

①板野一郎のコーナー

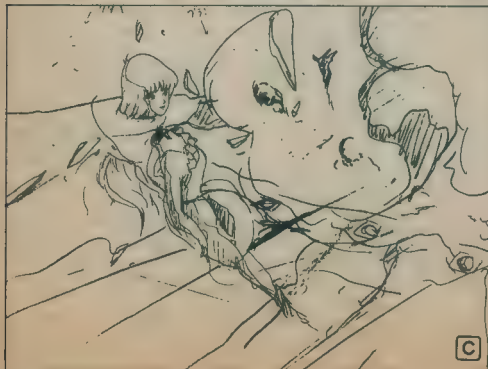
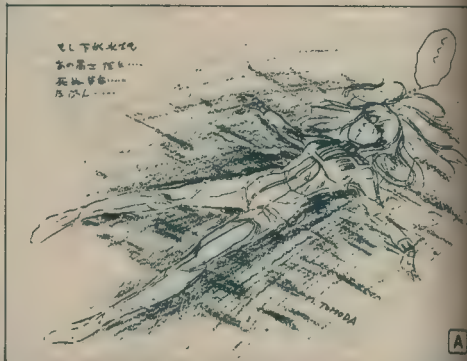
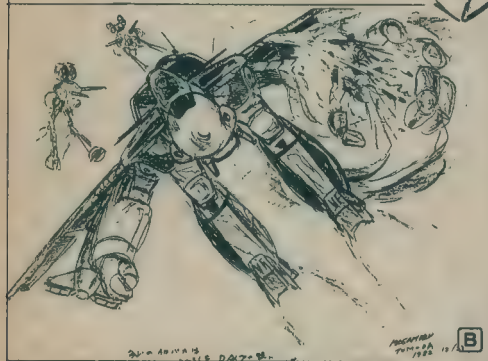
板野氏は史上まれに見る肉体派アニメーター。通称〝バトルアニメーター〟と呼ばれている。以下そのゆえんとなった事件のいくつかを紹介する。

■ビーボォーに所属していたころ、岩の上から9m下の滝壺にダイビングする外国人を見て発奮。日本の名誉のためスタッフでただひとり飛び込んだ。
■50ccのバイクに乗り時速50kmで電信柱に激突。約8mブッ飛ばされ入院するが、親に知られるのを恐れその夜のうちに病院から脱走する。
■「マッドマックス2」を見た帰りに興奮さめず、オートバイで歩道橋をかけあがる。しかし、途中でキックペダルを折り、チェーンをはずしてしまい、エンジンを押しがけして家に帰る。
■石の乗ったアスファルト道路のカーブを時速60kmで転倒、後続のバイクに足をひかれる。
■少年時代に〝警察剣道〟をならい、実力2段程度となる。
■スタントマンの事務所に所属の経験あり。(仕事はせず)

メカのスピード、こわれかたの描き方は、こういった実体験に基づいたものなのだッ！

B

A

C

モズー隊	ココナツ隊	友田愛国隊
作監・板野一郎	原画・枠 裕	原画・友田政晴

上の3つのマークはメカ作画班が個人的に考えたバルキリー隊のマーク。ときどき画面に登場するが、作監の特権で板野隊が圧倒的に強い。
A・Bは友田政晴氏が、Cは本猪木治明氏が仕事の合い間に描いた冗談原画。欲求不満か？

メカ作監♥

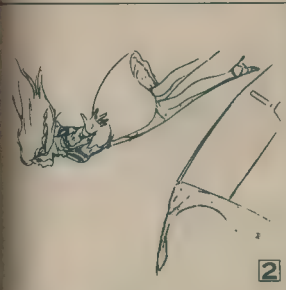
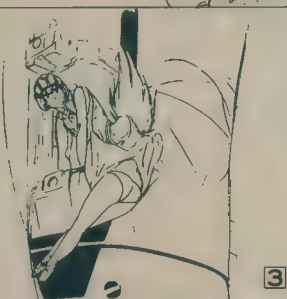
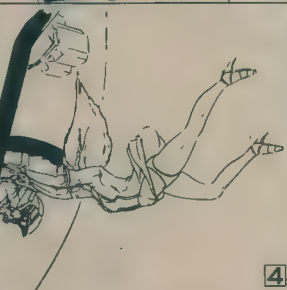
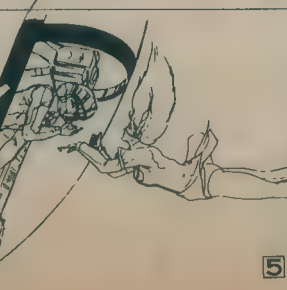
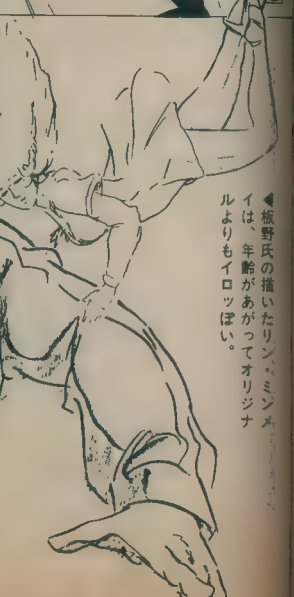
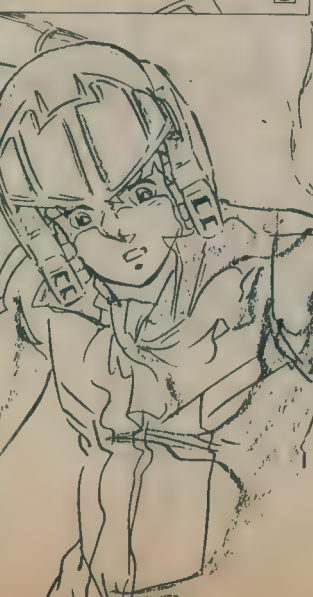
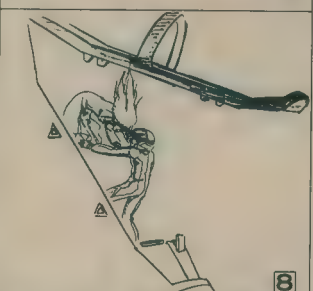
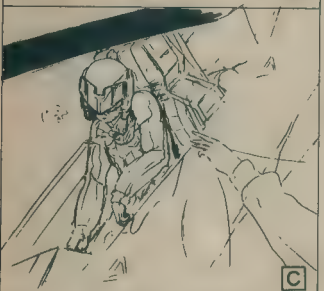
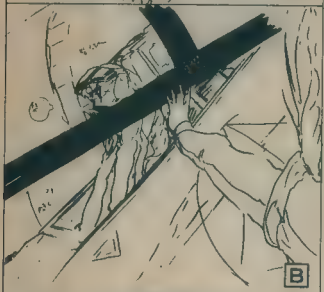
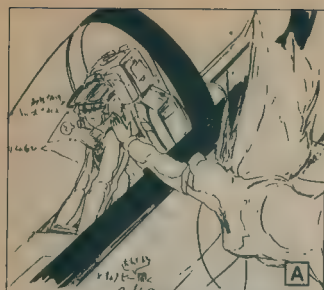
板野一郎 VS 美樹本晴彦

キャラ作監♥

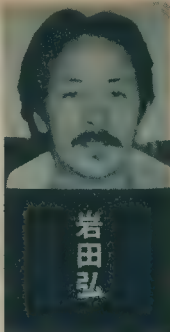
誌上対決!!

AM'82・12月号でも紹介した第2話のいわゆる"板野サーカス"シーンのウラ話。この原画を描いたのは板野氏、しかしキャラ作監の美樹本氏はその全カットを修正した。どこを修正したのかは両者の絵をくらべれば一目瞭然。見せようとする板野氏と隠そうとする美樹本氏との対決である。このシーンの作画のときにはスタジオ全体が"見せる派"と"見せない派"のふたつにわかれてケンケンガクガク、大変な騒ぎだったという。"見せる派"は板野氏、石黒氏、演出の高山氏ら。"見せない派"は美樹本氏、制作の内山氏、河森氏らである。

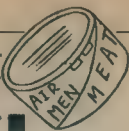
「作画段階で勝ち目がない！　とみた板野君は動画チェックの人を腕力でおどして数カットを描きかえさせたんですよ。こわいですね〜〜」（美樹本氏の証言）しかし、そのとき指定した色が悪く、結局画面ではわからなかった。なお最後まで「見せろ！」と主張したのは松崎健一氏。

◀板野氏の描いたリン・ミンメイは、年齢があがってオリジナルよりもイロッぽい。

▲バルキリーの手は板野氏、ミンメイは美樹本氏の共同原画。ここで紹介したシーンの冒頭部分である。

●企画

全36話に放映延長決定！ 今後のマクロスの動向は？

岩田弘

■今後の「マクロス」の予定を教えてください。

「全23話の予定が全36話に延長されることに、ほぼ決定しています。ストーリー的には第24話あたりでひとつのヤマをむかえるでしょう。放映の時間帯に関してはいまのところ、変更の予定はありません」

■新人声優を多く起用したりナレーションを女性にしたりと、いろいろな試みがなされているようです。キャスティング決定の経緯は？

「まず主人公の輝はその設定から、普通の男の子のしゃべりかた、演技でない味が要求され、オーディションで長谷有洋君に決定しました。ミンメイはプロとして歌が歌えることが第1条件でしたから、レコード会社のビクターから推薦された何名かを含めてオーディションを行いました。その結果、シンガーソングライターとしてデビューする予定だった飯島真理さんに決まりました。ミンメイと年齢的な感覚も、歌手としてデビュー直前という境遇もピッタリですし。

早瀬未沙は回を追うにしたがってそのキャラクター性が変化し、重要視されてくるむずかしい役です。そこで芝居のうまさから土井美加さんに決定しました。

ナレーターを女性にしたいというのはC・Dの石黒氏と私の要求だったのですが、小原乃梨子さんのナレーションは、いままでのロボットアニメにない新鮮なインパクトがあり、成功したと思います」

■BGMに関しては？

「『マクロス』にとって音楽は作品のテーマにかかわってくる問題なので特に重視しています。作品の映画的なドラマチックさをもりあげる曲を、ということで実績のある羽田健太郎氏に依頼しました」

■作詞をしている阿佐茜さんとは？

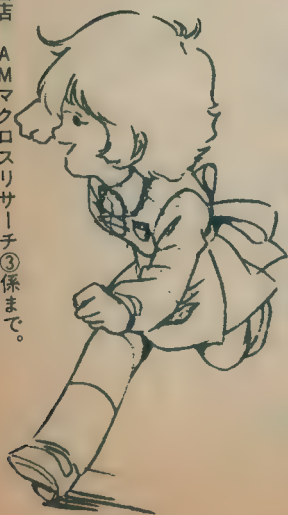
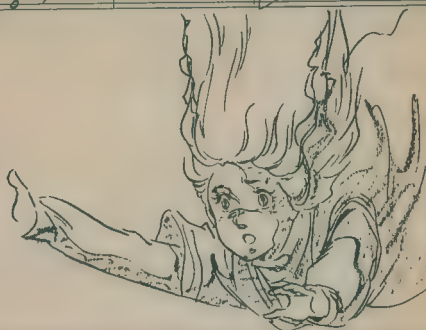
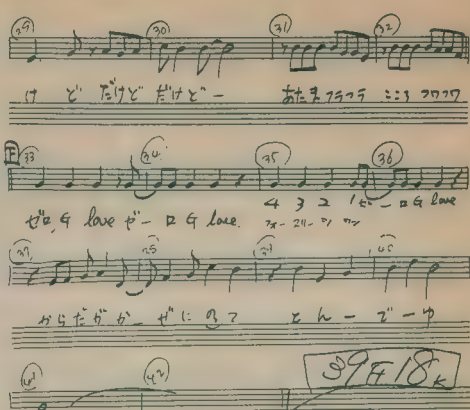
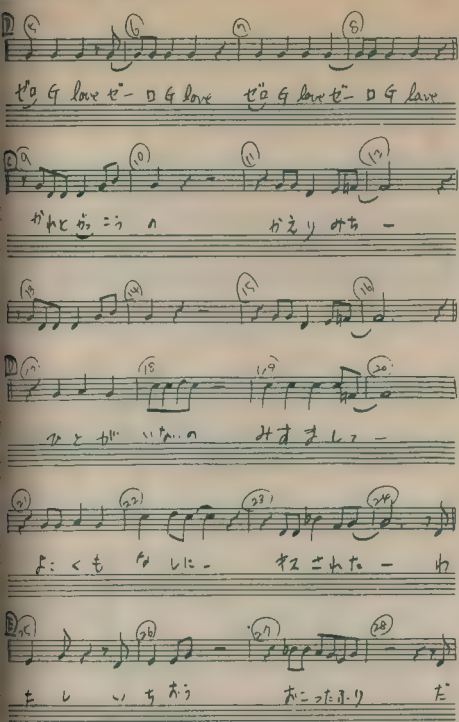
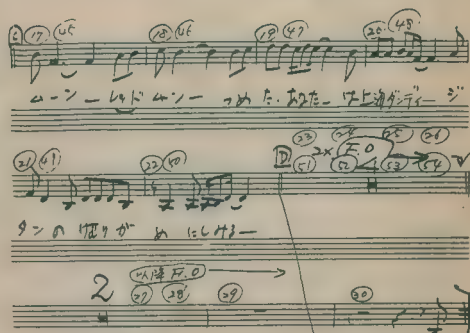
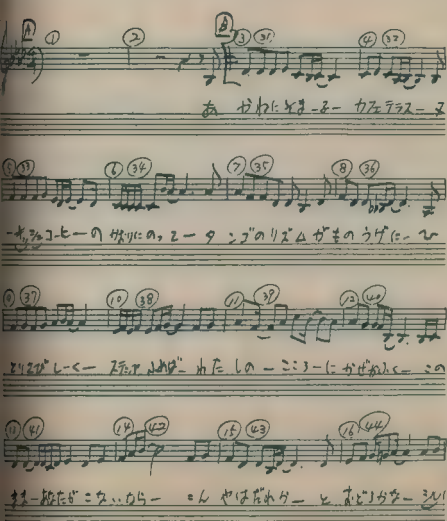
「実は『マクロス』の歌詞は、制作スタッフの共同作品でして、その共同ペンネームなんです。音楽好きのスタッフが多いですし。ちなみにエンディングは松崎健一さん、〝ゼロGラブ〟は石黒さん、〝私の彼は……〟は私が作詞しました。

つぎのページからマクロスの挿入歌の楽譜を掲載します。すべて作詞阿佐茜、作曲羽田健太郎です」

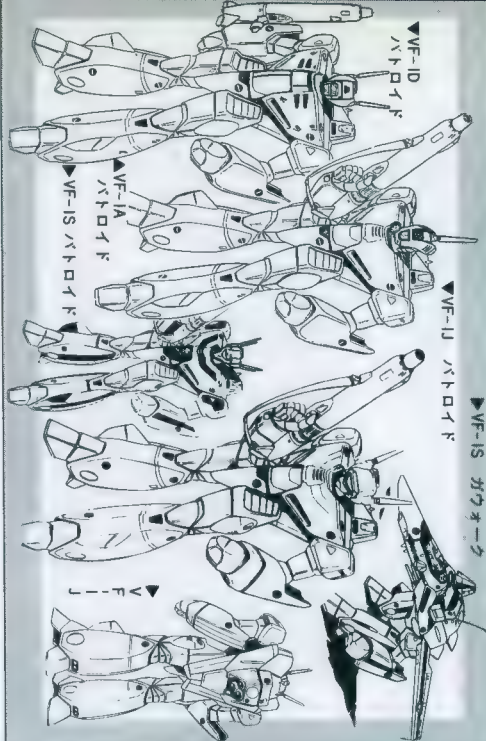
日本音楽著作権協会(出)許諾番号8213376号

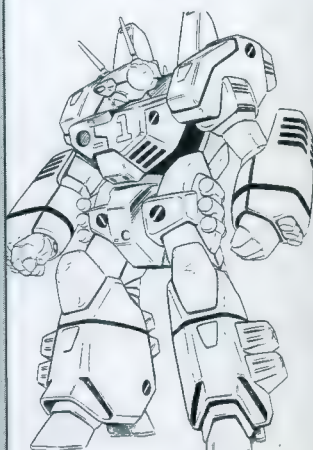
●私の彼はパイロット

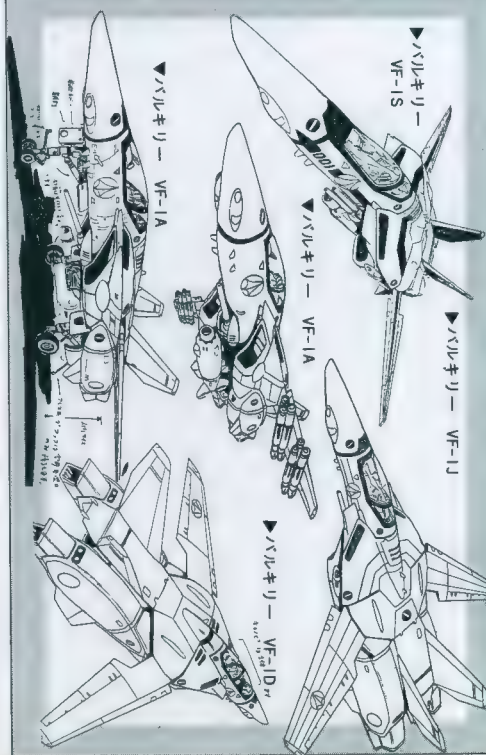
●ビューティフルプレース・イン・マイハート

このふろくやマクロスに対する意見、要望をお寄せ下さい。〒105 東京都港区新橋4の10の1 徳間書店 AMマクロスリサーチ③係まで。

●ゼロGラブ

●シルバームーン・レッドムーン

●アイロンプリントの使い方
①布は、ポリエステルかそれとの混紡がよく、木綿や麻は洗うと色が落ちます。②アイロンの温度は綿（180℃）にあわせます。③プリントする絵のみを切り抜いて、うす紙の上に布、絵柄、アルミホイルを重ねます。④用意ができたらアイロンをゆっくりのせ、40秒動かさずにおさえます。⑤アイロンをそっと離して出来上がり。

河森正治

第1話でバリキリーのバーニヤに吹き飛ばされて死亡したと思われていたが、マクロス艦中に再建されたアートランドで姿を見たものが……。

バトロイド・バルキリー データ

●全高/12.68m ●全備重量/18.5t ●主機/新中州重工・P&H・ロイス・FF-2001熱核反応タービン×2 ●主砲/ハワードGU-11 55mm 3連ガトリング・ガンポッド ●副砲/マウラーRÖV-20対空レーザー機関砲 ●メーカー/ストンウェル・ベルコム・新中州重工・センチネンタル共同開発

アーマード・バルキリー

●全高/12.68m 全備重量34.7t ●バルキリー用プロテクター・ウェポンシステム/新中州重工 GBP-1(重量16.2t)●兵装/エニコーン GH-32グレネードクラッシャーメ56、エリコーン GA-100 高速徹用クラッシャーX6、ラミントンH-22T 大型ハンドグレネードX6

▼バルキリー VF-1S
▼バルキリー VF-1J
▼バルキリー VF-1A
▼バルキリー VF-1A
▼バルキリー VF-1D

バルキリー・データ

VF-1シリーズの基本要求に含まれた空戦能力は、現代戦闘機の水準を維持したものであり、これを維持した結果、陸上兵器としては超絶的な出力を誇るものとなった反面、飛行性能に装甲を奪われ、脆弱な機体となった。それでも航空機の装甲としてみれば、従来のものとは比較にならぬ強度を有している。

MACROSS

〈マクロス名言集〉一条 輝・その1

「いつまでもうしろとは限りませんよ、先輩！」(第1話)「…ひどいなあ、飛行機をロボットなんかにしやがって」(第2話)「なんです、このオバさん」(第3話)「どうせぼくは飛行機を飛ばすしか能のない人間で……だけど……だけどぼくは君のことを……ごめん……」(第4話)「一夜明ければ単なるお友だちか」(第5話)

ミンメイのおじ、おば

中華料理店「娘々(ニャンニャン)」を夫婦で経営。今後、重要なキャラになるリン・カイフンの両親だが、たぶん彼は、母親似でしょうね……。

一条輝役
長谷有洋

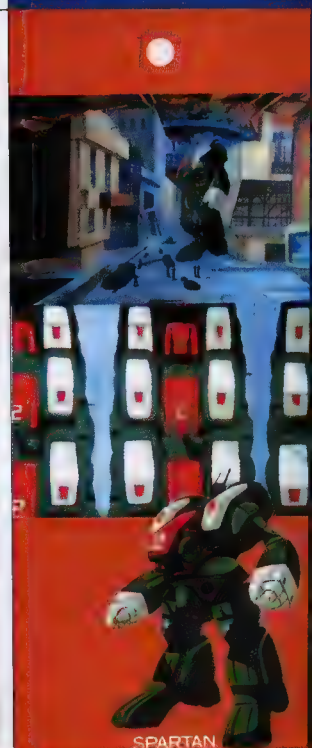
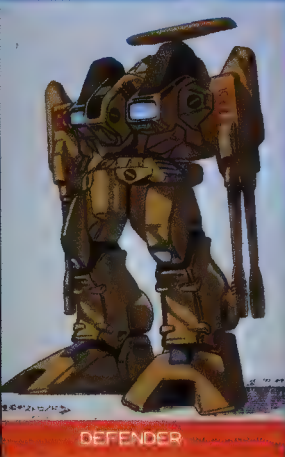
くるーぷこまどり所属。スタジオにはいつも一番乗りの熱心さ。「輝の性格はごくふつう、逆に演技のむずかしさを痛感しています」。

MACROSS

〈マクロス名言集〉一条 輝・その2

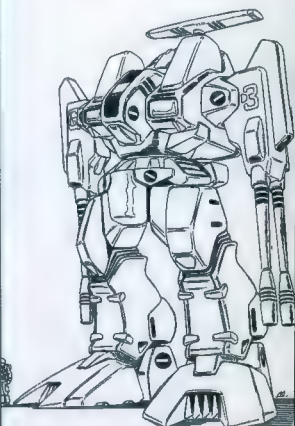
「おれ、明日になったらもういないかもしれないんだよ、ミンメイ」「ミンメイ……眠れないよ〜」(第6話)「何いってんだよ！ 減るもんじゃないだろ!! ここから逃げ出すためじゃなきゃだれがあんたなんかと」「考えてみればあわれな話だね、戦うことしか知らない人間なんてさ……」(第12話)

スパルタン

●全高／11.31m ●全備重量／29.4 t ●主機／グゲンハイマーDT2004熱核反応炉 ●ガン系／ビフォーズ12連発近接自己誘導ロケットランチャー×2 ●ガン系／アストラ TZ-TV ガンクラスター×2、マウラーROV-10 対空レーザー機銃×2 ●メーカー／センチネンタル・クランスマン共同開発

ジャミス・メリン
ミスマクロスをミンメイに取られてしまったハリウッドの名女優。今後、芸能界入りしたミンメイのイビリ役に……。

リン・ミンメイ役
飯島真理
NPSテアトル所属。国立音大ピアノ科在学中。「ミンメイの歌のふりつけは私が考えたの。なかなかでしょう」。

〈マクロス名言集〉リン・ミンメイ／その1

「あら!? ヤダー、髪の毛がメチャクチャ」(第2話)「私たちが死んだらネズミのエサね……きっとあのマグロみたいに……死ぬ前に一度でいいから花嫁衣裳が着たかったな」(第4話)「いつも先輩先輩ね……あなただってあんなに操縦うまいのに」「ばかね、同じ船の中じゃない、休暇になればいつでも会えるわ」(第5話)

ディフェンダー
●全高／10.73m(アンテナまで ●全備重量／27.1t ●主機／クランス・マッファイMT828熱核反応炉 ●副機／GEEM10t 燃料発電機 ●主砲／エリコーン 78mm 液冷高速自動砲、TYPE966PFGコントラベスセット×2 ●メーカー／ビガース・クラウスラー共同開発

〈マクロス名言集〉リン・ミンメイ／その2

「私そろそろ帰んなくっちゃ、男の人とふたりきりであまり長くいると、おじさんたちが心配するのよ」(第6話)「……戦争なんだからいじけても始まらないわ」(第7話)「恋人と呼べるほどの人はまだ、お友だちならたくさんいますけど」(第9話)「ご帰還おめでとうございます、おたがい有名になっちゃったわね」(第13話)

早瀬未沙役
土井美加

劇団昴所属。キャラの一本気さが自分に似ているそう。「本当はかわいい女性なんですよ。未沙って」。

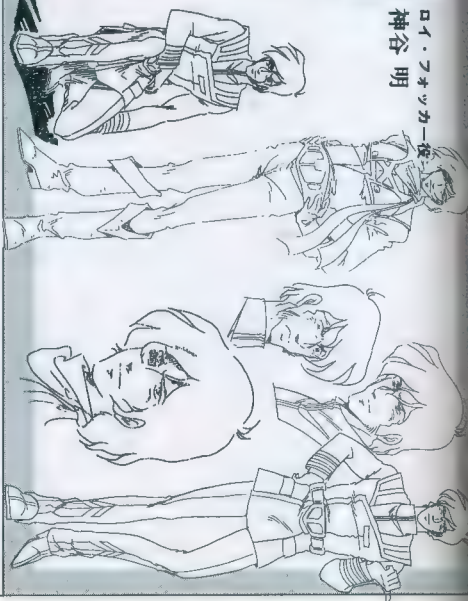
超時空要塞 MACROSS

〈マクロス名言集〉早瀬未沙

「私がちょっとでも男の人の話をしようものなら、クローディアにからかわれるわ。ああ……士官学校首席の早瀬中尉が……ってね」「いいじゃない、好きな人がいるってことは。何が何でもマクロスに帰りたいって思えるもんね。私なんか任務が恋人がわり……」「年上をからかうもんじゃないわよ」(第12話)

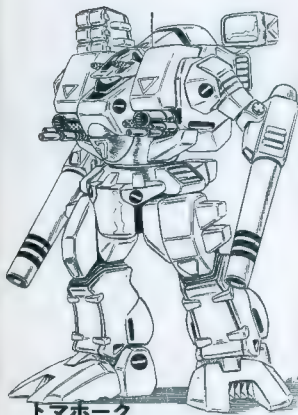
ライバー少尉

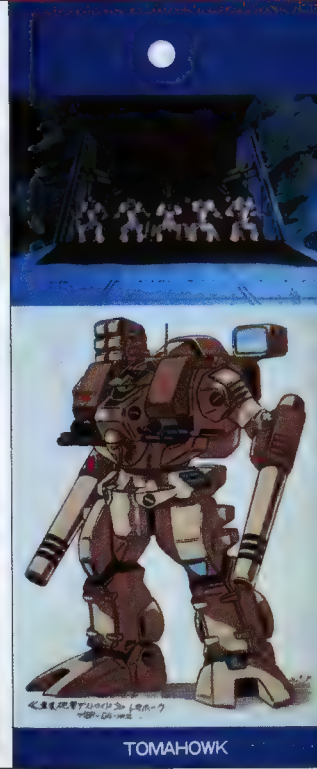
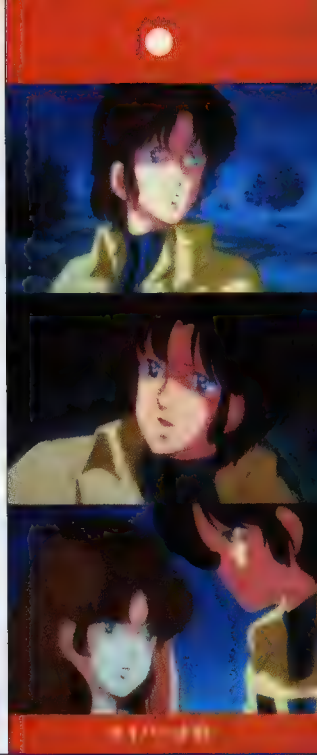
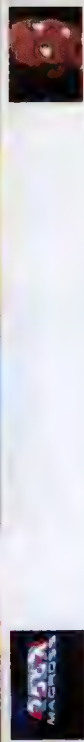
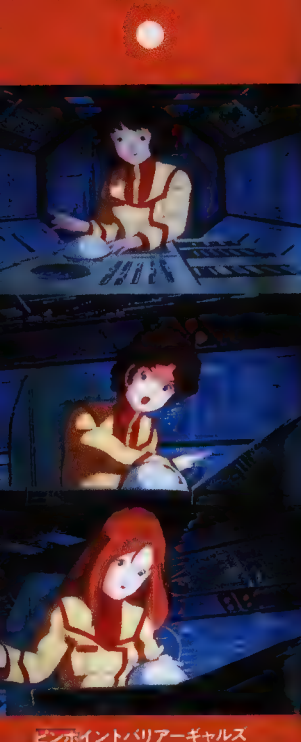
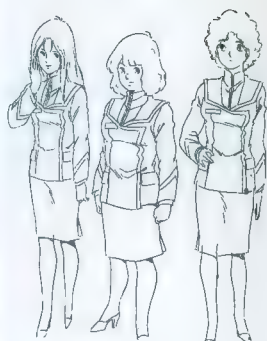
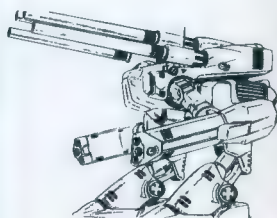
早瀬未沙の初恋の相手。火星の観測基地に配属されていたが、統合戦争時に反統合軍の攻撃を受け死亡した。1話限りの伏線用キャラ。

ロイ・フォッカー役
神谷 明

俳協所属。本人はキャラにベタ惚れ。「もっと輝とのからみがほしかった。でも作品全体のバランスを考えるとこれでいいんでしょうね。少し惜しいけど」。

超時空要塞 MACROSS

〈マクロス名言集〉ロイ・フォッカー

「人殺しったってしょうがねえんだ! それが商売なんだから」(第1話)「どうだ輝、はじめて撃墜された感想は?」(第2話)「この! ゴキブリ野郎が!! どんなことがあっても生きのびてるゴキブリだ〜」(第5話)「やれやれ、メダカみたいに群れちまって。まるで女学生じゃねえか」(第8話)

トマホーク

●全高/22.46m ●全備重量/28.55t ●主機/ギャランド WTI 001 熱核反応炉 ●副機/新中州重工 CT8P熱核反応炉 ●主砲/ビガース 40cm液冷式液体推薬キャノン砲×4 ●ロケット砲/ライセオンLSSN-20G3 連装対地ミサイルランチャー×2 ●メーカー/ビガース・センチネンタル共同開発

ピンポイントバリアーギャルズ
マクロス防御用のバリアーを球形コントローラーで操作する３人娘。激烈な戦闘も彼女らの手にかかれば、まるでテレビゲーム……。

キム役
鶴ひろみ
青二プロ所属。ピンポイントバリアーの女の子の声も演じている。「横からおそっちゃいや。前から来て！　なんてセリフばかりまかされるんですよ」。

クローディア・ラサール役
小原乃梨子
バオバブ所属。アニメではめずらしい黒人女性の役。ナレーションも担当している。「どちらも役者として大変おもしろい素材。毎回新鮮な気持ちでとりくんでいます」。

マクロス MACROSS

〈マクロス名言集〉クローディア&キム
クローディア「ああ、あの人ひと晩飲み明かしたくらいじゃなんともない。統合戦争の時分、２日酔いで５機落としたって自慢してるんですもん」「それともな～に、アンタ引き取ってくれる？……」(第１話)　**キム**「やだったって、昨日まではあんなに宇宙へ出たがってたくせに」(第２話)

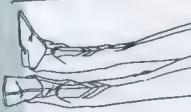
モンスター
●全高／22.46m　●全備重量／28.55ｔ　●主機／ギャランドWTI 001 熱核反応炉　●副機／新中州重工CT8P 熱核反応炉　●主砲／ビガース40cm 液冷式液体推薬キャノン砲×４　●ロケット砲／ライセオンLSSN-20G ３連装対地ミサイルランチャー×２　●メーカー／ビガース・センチネンタル共同開発

シャミー役
室井深雪
ＮＰＳテアトル所属。マクロスでデビューした新人。「６話のセリフ『エッチ！』で何度もリテイク。あれにはまいったなァ」。

ヴァネッサ役
佐々木るん
バオバブ所属。「いつも頭の中で知性…知性…とつぶやきながら声を出してます」。クラッシャージョウのアルフィン役も。

〈マクロス名言集〉シャミー&バネッサ
シャミー「艦長！　ブリッジは禁煙です」(第１話)「ワー、ミスターランジェリィ！」(第６話)「その子、私たちよりもきれい？」「じゃあかなりの美人ね」(第10話)「みんなもヤケ食いするのかしら？」(第16話)　**バネッサ**「そうか、中尉でも男の方に興味がおありなんですかぁ、へ～っ」(第１話)

羽佐間道夫　グローバル艦長役

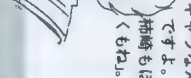
俳協所属。いままで主に洋画のアテレコ。ディーン・マーチン役などを好演。「アニメには日本の風土に左右されない無限の可能性を感じています」。

鈴木勝夫　柿崎速雄役

NPSテアトル所属。本人の根っからの陽気さは柿崎そのもの。「でも本当は小心でナイーブなキャラなんですよ。柿崎もぼくもね」。

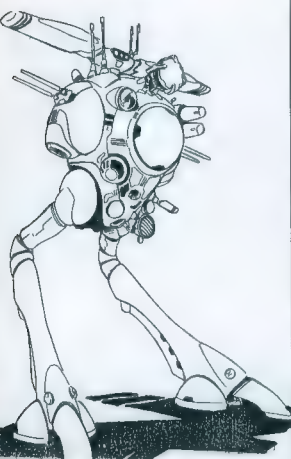
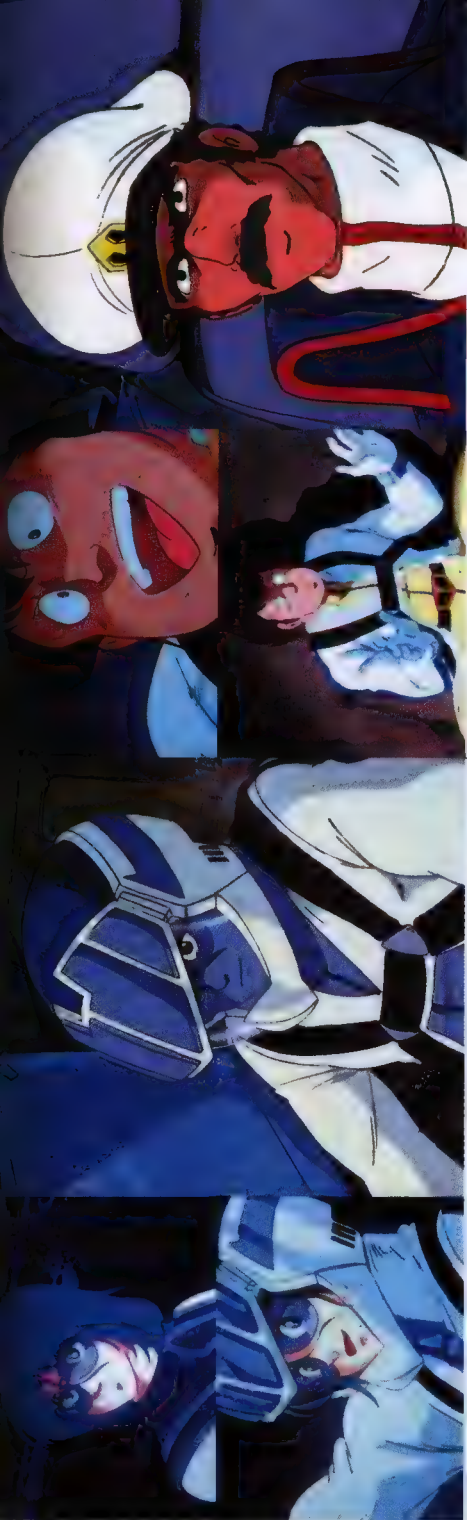
〈マクロス名言集〉グローバル艦長&柿崎

グローバル「やれやれ、ここでもか。ジャミーばかりか、機械にまでいわれてしもうた」(第15話) **柿崎**「ガハハハ！隊長！いいところってあそこでしょ。ガハハハ！　ほら例の……ホラ!! ここだここ！　開店したばかりなんですよ、この店！」「いやーまいったまいった。機体をオシャカにしてしまった」(第8話)

技師長
ピンポイントバリアーやトランスフォーメーションの開発者。しかし彼の開発したものには欠陥や問題点が必ずある。名前もないアワレなキャラ。

大浜　靖　マクシミリアン・ジーナス役

パオパブ所属。ひさびさに渋い2枚目の声の新人と石黒氏が絶賛。「気負いがまったくないマックスらしいカッコよさをこわさないようがんばっています」。

〈マクロス名言集〉マクシミリアン・ジーナス

「同じくマクシミリアン・ジーナスです。マックスとお呼び下さい。未熟者ですので、よろしくご指導のほどを」「ぼくって天才だったのか。そうか天才なのか……知らなかった」(第8話)「しかし意外だな～隊長の恋人はてっきりあの娘だと思ってたのに、年上趣味があったとは……」(第12話)

リガード
●全高／15.12m　●全備重量／37.5t　●主機／エスペリン熱核反応炉　出力1.3GGV　●主砲／中口径荷電粒子ビーム砲×2　●副砲／小口径レーザー対人機銃×2　●対空砲／小口径レーザー対空機銃×2　製造／エスペリン第4432369 ゼントラーディ全自動兵器廠開発製造

〈マクロス名言集〉ブリタイ&エキセドル

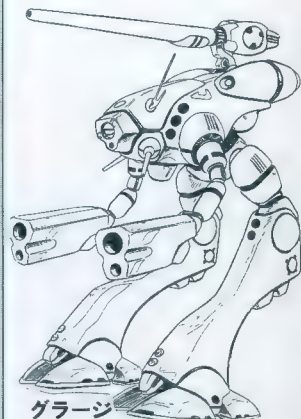
ブリタイ「バカな！　こんな未開種族が、失われた技術を持っているなど信じられん」**エキセドル**「事実です。さすれば先ほどのミサイルも可能性が出てきますな。幻の……」(第1話)　**エキセドル**「あらゆる分析を試みましたが、なぜにこのような型に変型するのか、一向に……」(第6話)

最高司令 ボドルザー

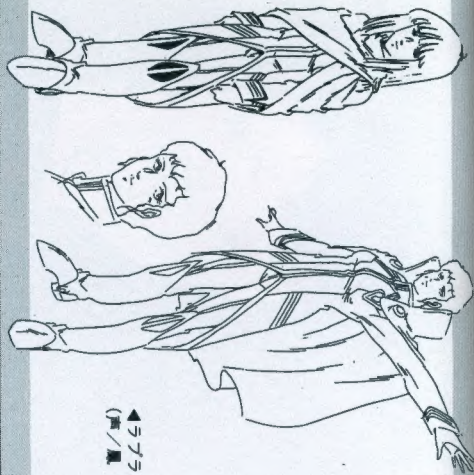
ゼントラーディ 旗艦を統轄する指導者。彼の「プロトカルチュア～」という名セリフ(？)により、物語の中核である巨人とマイクローンの関係が明確にされた。市川治が声優として復帰し、彼の声をアテている。

〈マクロス名言集〉カムジン・クラブシェラ

「コノヤロー、このオレがガマンしろっていうのに！」「バカメ、このオレにさからうから……」(第7話)「なあオイグル、ポンコツが撃つと照準が狂ってたりすることがよくあることだな」「で、こいつが威嚇射撃をやろうとして……」(第10話)「ここで手ェこまねいてはカムジン一家のハジってもんだ！」(第13話)

グラージ

●全高16.55m　●全備重量／41.2t　●主機／ロイコンミ　熱核反応炉　●主砲／大口径インパクトキャノン×2　●副砲／小口径インパクトガン×2　●付属兵器／長射程荷電粒子ビーム砲、小口径レーザー対人機銃×2、接近戦用追尾ミサイル×6　●製造／ロイコンミ第330048902 ゼントラーディ全自動兵器廠開発製造

ワレラ、ロリー、コンダ

ミスマクロスの放送でミンメイを見たのがきっかけで、マクロスにスパイとして潜入することになった３人組。３人の名まえをつづけて読むと彼らの性格がよくわかる。

〈マクロス名言集〉ラプラミズ

「今度の敵は、監察軍より危険かもしれんぞ」(第12話)「カムジン、ボドルザー閣下はマクロスを沈める許可を下されてはいない！、私は直営艦隊指揮官として新たな指示があるまでボドル閣下の命令を遂行する。これ以上勝手な行動を取るなら全艦隊が相手になる」(第13話)

▶ラプラミズ専属記録将校

◀ラプラミズ（声／鳳 芳野）

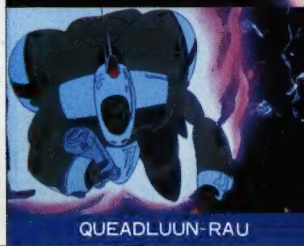
クアドラン・ロー

●全高／16.75m ●全備重量／32.5 t ●発動機／キメリコラ熱核コンバーター×２ ●慣性制御系／キメリコラ特殊イナーシャーベクトルコントロール・システム ●主砲／中口径速射インパクト・キャノン×２ ●副砲／空対空高回転三砲身レーザーパルス・ガン×２ ●ロケット兵器／近接用超小型ミサイルランチャー×４

〈マクロス名言集〉ミリア

「相手はたかがマイクローン、私ひとりで十分です」「これが監察軍より危険な敵とはな！　手ごたえのない連中だ」(第12話)「敵には手を出すな？……そういう命令って実行しにくいんだよね」「ホーラ、もう命令違反しちゃったフフフ……」(第16話)

ミリア（声／竹田えり）

マクロスの世界に広がりを与える、スタジオぬえの宮武一貴と河森正治がデザインしたメカニックの数々。その魅力を３Ｄの世界へと導いてくれるタカトクトイス製のホビー類を紹介。

BIG-MACROSS

宮武一貴がデザインした全長1200ｍの超時空要塞マクロスを1/3000スケールでホビー化。アニメ本編と同様に、要塞型(右)から強攻型(左)にトランス・フォーメーションすることができる。￥5800

△DESTROID PHALANX
SDR－04MKⅩⅤ 1/100

△DESTROID DEFENDER
ADR－04－MKⅩ 1/100

CONVERSION KIT

設定同様、MBR－04デストロイド歩行システムに装甲と兵装パーツを装着することにより３種類のデストロイド(トマホーク、ディフェンダー、ファランクス)が作れる。￥3500

△DESTROID TOMAHAWK
MBR－04MKⅥ 1/100

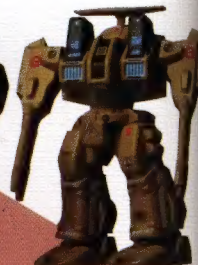
MACROSS COLLECTION SERIES

マクロスのオーバーテクノロジーを利用し、開発された、宮武一貴デザインのデストロイドと河森正治デザインのバドロイドを1/144スケールで3D化したダイキャスト製ホビー。￥980
(モンスターのみ1/240、￥1500)

▷DESTROID SPARTAN
MBR－07－MKⅡ 1/144

△DESTROID DEFENDER
ADR－04－MKⅩ 1/144

△BATTOROID VALKYRIE
VF－1S 1/144

△BATTROID VALKYRIE
VF－1J 1/144

△DESTROID TOMAHAWK
MBR－04－MKⅥ 1/144

△DESTROID MONSTER
HWR－00－MKⅡ 1/240